

教育委員会事務点検・評価報告書

(平成30年度事務事業対象)

令和元年 8月

呉市教育委員会

目 次

I はじめに

1 点検及び評価の趣旨	1
2 呉市教育委員会の点検及び評価	
(1) 手順	2
(2) 対象	2
(3) 方法	2
3 知見の活用	3

II 呉市教育委員会の概要

1 教育委員会教育長	4
2 教育委員会委員	4
3 教育委員会会議	
(1) 平成30年度議決事項	4
(2) 平成30年度報告事項	6
4 研修会等への参加状況	
(1) 会議・研修会	8
(2) 行事等	8
(3) 学校訪問・公開研究会等	8
(4) その他	8

III 点検及び評価の結果

1 平成30年度対象課題と評価結果	10
2 「第4次呉市長期総合計画」における対象課題の位置付け	
(1) 重点プロジェクト	11
(2) 基本政策	11

(令和元年度点検・評価シート)

・遠距離等通学児童生徒に対する支援 (教育総務課)	12
・小中学校のブロック塀対策 (学校施設課)	14
・小中一貫教育の推進 (学校教育課)	16
・文化・芸術体験活動の推進 (学校教育課)	18
・特別支援教育の推進 (学校安全課)	20
・生徒指導の充実 (学校安全課)	22

・安全対策の推進（学校安全課）	24
・青少年健全育成事業の推進（文化振興課）	26
・文化財の活用と管理（文化振興課）	28
・図書館サービスの向上（中央図書館）	30
・図書館の適正な管理運営（中央図書館）	32

I はじめに

1 点検及び評価の趣旨

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）」が改正され、平成20年度から、教育委員会は毎年度、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、市民に公表することが義務付けられました。

本報告書は、平成30年度の呉市教育委員会に属する事務（市長部局に事務移管された文化・スポーツに関する事務を除く。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行った結果を、教育に関し学識経験を有する者の意見を付して、報告するものです。

【参考】地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

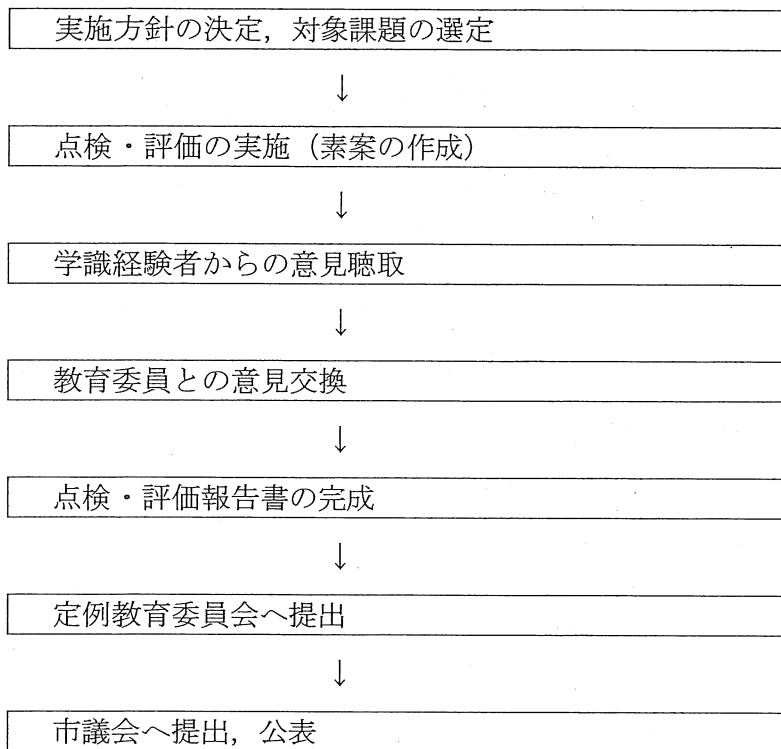
第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 呉市教育委員会の点検及び評価

(1) 手順

平成30年度に呉市教育委員会において執行した事務事業について、次の手順で点検及び評価を行いました。



(2) 対象

点検及び評価は、各部署が抱えている課題のうち、それぞれが平成30年度の重点課題と位置付けているもの（全11課題を抽出。以下「対象課題」といいます。）を対象としました。

※ 本報告書では、対象課題ごとに課題解決に向けて実施した事務事業の分析・評価を通じて、今後の取組を検討しています。対象課題については、10ページ「平成30年度対象課題と評価結果」を参照してください。

(3) 方法

点検及び評価は、各部署が抽出した対象課題ごとに、次の内容を明らかにすることにより行いました。

- ・対象
- ・事業概要（事業内容）
- ・実施方法
- ・意図・目的
- ・成果指標
- ・投入資源
- ・活動実績
- ・学識経験者の意見
- ・担当課の評価（自己評価・点検、現在の課題と課題解決の取組、今後の方向性）
- ・振り返り項目

■具体的な点検・評価の方法は…

対象課題ごとに、「課題解決のためにどんな取組を行ったのか」、「なぜ課題を克服できなかったのか」、「課題を克服するために何が必要か」という視点で点検・評価（課題分析）を行い、学識経験者の意見を踏まえ、達成状況等を評価し、「今後何が必要か、次年度以降にどうつなげていくのか」などについて「今後の取組・方向性」としてまとめています。

■評価（評価結果）の判断基準…

評価に当たっては、対象課題ごとに、「事業（取組）実績」、「事業費」、「成果・課題」、「課題取組」の各項目を総合的に考察し、取組に対する達成状況を以下の基準に沿って評価しました。

指 標	評 価 に 当 た っ て の 基 準
A （ 達 成 ）	十分成果が上がっている（計画どおりに進んでいる。）。
B （おおむね達成）	成果が上がっている（おおむね計画どおりに進んでいる。）。
C （一部未達成）	成果が十分でなく改善の余地がある（一部計画どおりに進んでいない。）。

3 知見の活用

点検及び評価は、その客観性を確保するため、呉市教育委員会において執行した事務事業の状況等について、次の3名の学識経験者の方から意見聴取を行いました。

・意見聴取日 令和元年7月5日（金）

氏 名	役 職 等
あさくら あつし 朝 倉 淳	安田女子大学教育学部児童教育学科教授
とよはら まさふみ 豊 原 正 史	呉市P T A連合会副会長
ふるえ ゆきえ 古 江 由紀枝	呉市民生委員児童委員協議会会長 呉市社会教育委員

II 呉市教育委員会の概要

1 教育委員会教育長

(平成31年4月1日現在)

職名	氏名	任期	備考
教育長	寺本 ありのぶ もと 有伸	H30. 4. 1～R3. 3. 31	

2 教育委員会委員

(平成31年4月1日現在)

職名	氏名	任期	備考
教育長職務代理者	森尾 けいすけ もり お 敬介	H28. 3. 27～R2. 3. 26	会社役員
委員	船尾 しん ふな お 慎	H29. 4. 1～R3. 3. 31	保護者代表
委員	佐々木 はじめ ささき 元	H29. 9. 26～R3. 9. 25	歯科医師
委員	小谷 まきこ こ だに 眞喜子	H31. 4. 1～R5. 3. 31	会社監査役

3 教育委員会会議

「呉市教育委員会会議規則（平成5年7月5日教委規則第9号）」において、定例会を毎月1回、必要がある場合には臨時会を開催することを定めています。

平成30年度においては、定例会を12回、臨時会を4回、それぞれ開催しました。

(1) 平成30年度議決事項（※：市長へ意見申出）

提案年月日	番号	件名
平成30年 4月27日	13	「教育委員会事務点検・評価（平成29年度事務事業対象）」の実施について
	16	契約の変更について※
平成30年 5月 1日	14	平成31年度に呉市立小・中学校で使用する教科用図書の採択に係る基本方針について
	15	平成30年度に呉市立呉高等学校で使用する教科用図書の採択に係る基本方針について
平成30年 5月25日	17	臨時代理の承認について（物品の取得について（白岳小学校空調機器一式））※
	18	臨時代理の承認について（物品の取得について（横路小学校空調機器一式））※
	19	臨時代理の承認について（物品の取得について（昭和北小学校空調機器一式））※
	20	臨時代理の承認について（物品の取得について（三坂地小学校空調機器一式））※

平成30年 5月25日	21	臨時代理の承認について（物品の取得について（阿賀小学校空調機器一式））※
	22	臨時代理の承認について（物品の取得について（昭和西小学校空調機器一式））※
	23	臨時代理の承認について（物品の取得について（昭和中央小学校空調機器一式））※
平成30年 6月22日	24	呉市立小学校及び中学校通学区審議会委員の委嘱又は任命について
	25	呉市社会教育委員の委嘱又は任命について
	26	呉市立美術館運営審議会委員の委嘱について
	27	呉市立図書館協議会委員の委嘱又は任命について
平成30年 8月 9日	28	「教育委員会事務点検・評価（平成29年度事務事業対象）」に係る意見交換について
平成30年 8月23日	29	平成31年度教職員人事異動に係る呉市教育委員会の方針について
	30	臨時代理の承認（平成30年8月補正予算の専決処分）について※
	31	臨時代理の承認（平成30年9月補正予算）について※
	32	「教育委員会事務点検・評価報告書（平成29年度事務事業対象）」について
平成30年 8月24日	33	平成31年度使用教科用図書（呉市立呉高等学校）の採択について
	34	平成31年度使用教科用図書（小中学校特別支援学級用）の採択について
	35	平成31年度使用教科用図書（中学校「特別の教科 道徳」）の採択について
	36	平成31年度使用教科用図書（小学校）の採択について
平成30年10月26日	37	呉市立小中学校設置条例の一部を改正する条例の制定について※
	38	呉市青年の家条例の一部を改正する条例の制定について※
	39	呉市野外活動センター条例の一部を改正する条例の制定について※
	40	呉市御手洗地区文化施設条例の一部を改正する条例の制定について※
	41	臨時代理の承認について（教職員人事）
	42	臨時代理の承認について（教職員人事）
平成30年11月27日	43	呉市立天応小学校の校地面積の変更について
	44	臨時代理の承認について（平成30年度教育費補正予算）※
	45	臨時代理の承認について（公の施設の指定管理者）※
	46	臨時代理の承認について（職員人事）
平成30年12月21日	47	学校施設の建設計画について
	48	呉市就学奨励費支給規則の一部を改正する規則の制定について
	49	臨時代理の承認について（平成31年度教育費予算）※
平成31年 1月18日	1	呉市教育委員会事務局組織規則等の一部を改正する規則の制定について
	2	呉市教育委員会事務決裁規程等の一部を改正する訓令の制定について
	3	平成31年度「呉の学校教育」について
	4	平成31年度教育費予算復活要求について※
平成31年 2月19日	5	呉市教育委員会教職員住宅管理規則の一部を改正する規則の制定について
平成31年 3月 8日	6	教職員人事について

平成31年 3月22日	7	選挙運動のためにする個人演説会等開催のために必要な設備の程度等に関する規程の一部を改正する告示の制定について
	8	呉市立小中学校の管理及び学校教育法の実施に関する規則の一部を改正する規則の制定について
	9	呉市立呉高等学校の災害共済給付契約に係る生徒についての共済掛金の額のうち保護者等から徴収する額を定める規則の一部を改正する規則の制定について
	10	呉市御手洗地区文化施設条例の一部を改正する条例の施行期日を定める規則の制定について
	11	呉市御手洗地区文化施設条例施行規則の一部を改正する規則の制定について
	12	職員人事について

(2) 平成30年度報告事項

報告年月日	番号	件名
平成30年 4月27日	5	第4次呉市長期総合計画後期基本計画（平成28年度～平成32年度）の改定案について
平成30年 5月 1日	6	平成31年度使用教科用図書（小学校）の採択手続について
	7	平成31年度使用教科用図書（小学校）採択のための調査・研究要項
	8	平成31年度使用教科用図書（中学校「特別の教科 道徳」）の採択手続について
	9	平成31年度使用教科用図書（中学校「特別の教科 道徳」）採択のための調査・研究要項
	10	平成31年度使用教科用図書（小・中学校特別支援学級用）の採択手続について
平成30年 5月25日	11	平成31年度使用教科用図書（呉市立呉高等学校）の採択手続について
	12	平成30年度学校別児童、生徒数等について
	13	日本遺産（鎮守府）の追加認定について
	14	日本遺産（北前船）の追加認定について
平成30年 6月22日	15	広島県に対する提案事項について
	16	第4次呉市長期総合計画後期基本計画（平成28年度～平成32年度）の改定について
	17	呉市立小中学校施設の耐震化の状況について
	18	平成29年度学校安全の状況について
平成30年 7月26日	19	平成31年度呉市立呉高等学校入学者選抜の基本方針について
	20	大阪府北部地震を受けての対応状況について
	21	平成30年7月西日本豪雨災害に係る教育部の対応について
平成30年 8月23日	22	平成30年7月西日本豪雨災害に係る文化スポーツ部の対応について
	23	平成31年度呉市立呉高等学校の入学定員について
平成30年 9月27日	24	専決処分について
	25	寄附受納について
平成30年10月26日	26	平成30年度教育費補正予算について
	27	寄附受納について
	28	学校における働き方改革取組方針（平成30年度～平成32年度）について

平成30年11月27日	29	平成29年度定期監査の結果改善又は検討を要する事項の措置について
	30	寄附受納について
	31	運動部活動の方針について
	32	民事訴訟の応訴について
	33	専決処分について
平成30年12月21日	34	寄附受納について
	35	平成29年度生徒指導上の諸課題の状況について
	36	呉市立呉高等学校の平成31年度入学者選抜実施要項について
	37	平成30年度教育費補正予算について
平成31年 1月18日	1	平成31年度教育費予算について
平成31年 2月19日	2	寄附受納について
平成31年 3月22日	3	寄附受納について

4 研修会等への参加状況

(1) 会議・研修会

時 期	名 称	概 要
平成30年 5月	広島県市町教育委員会連合会総会 (広島市で開催)	教育長職務代理者(以下「代理者」という。)が県連会長として出席※当連合会は、県内市町の教育委員会(13市9町)で構成され、代理者は平成18年度から県連会長に就任
平成30年 7月	広島県女性教育委員グループ総会及び第1回研修会 (広島市で開催)	委員1名が総会及び第1回研修会に出席の予定であったが、平成30年7月豪雨災害により中止 ※当グループは、県内の女性教育委員により構成
平成30年11月	広島県女性教育委員グループ第2回研修会 (江田島市で開催)	委員1名が出席
	市町村教育委員会研究協議会 (大阪市で開催)	委員1名が出席
平成31年 3月	広島県女性教育委員グループ第3回研修会 (広島市で開催)	委員1名が出席

(2) 行事等

時 期	概 要
平成30年 4月	呉市立呉高等学校入学式に出席
	呉市立小・中・高等学校合同校長会に出席
平成31年 1月	教育委員会仕事始めの式に出席
平成31年 3月	呉市立小・中・高等学校卒業式に出席

(3) 学校訪問・公開研究会等

時 期	名 称	概 要
平成30年10月	小中一貫教育研究会 (白岳, 阿賀, 宮原, 両城中学校区で開催)	小中一貫教育について実践的な研究を行う学校において、研究発表や授業参観(公開研究会)を実施
	公開研究会	郷原小学校(平成30年度第5回中国地区・広島県小学校生活科, 総合的な学習の時間教育研究大会(西部大会))で開催
平成30年11月	公開研究会	吉浦中学校(平成30年度「道徳教育改善・充実」総合対策事業 指定校)で開催
平成31年 1月	公開研究会	平成29年度に引き続き, 昭和中央小学校(平成30年度文部科学省委託 人権教育研究推進事業)で開催

(4) その他

時 期	名 称	概 要
平成30年 5月	呉市総合計画審議会	委員から1名が委嘱

		※事務局は企画部企画課
平成30年 7月 平成30年12月	呉市青少年問題協議会	委員から1名が委嘱 ※事務局は文化スポーツ部文化振興課, 任期2年
平成30年10月 平成30年11月 平成31年 2月 平成31年 3月	呉市復興計画検討委員会	委員から1名が委嘱 ※事務局は復興総室
平成31年 3月	呉市環境審議会	委員から1名が委嘱 ※事務局は環境部環境政策課, 任期1年

Ⅲ 点検及び評価の結果

1 平成30年度対象課題と評価結果

	課名	対 象 課 題	評 価
1	教育総務課	・遠距離等通学児童生徒に対する支援	A
2	学校施設課	・小中学校のブロック塀対策	A
3	学校教育課	・小中一貫教育の推進	A
		・文化・芸術体験活動の推進	A
4	学校安全課	・特別支援教育の推進	A
		・生徒指導の充実	A
		・安全対策の推進	A
5	文化振興課	・青少年健全育成事業の推進	B
		・文化財の活用と管理	A
6	中央図書館	・図書館サービスの向上	A
		・図書館の適正な管理運営	B

※全11課題

※評価欄「A」＝達成, 「B」＝おおむね達成, 「C」＝一部未達成

2 「第4次呉市長期総合計画」における対象課題の位置付け

注1) 後期基本計画【平成30年度改定版】から教育委員会関係分を抜粋

注2) 平成30年度点検・評価シート中の「対象課題の位置付け」欄参照

(1) 重点プロジェクト

重点戦略	重点プロジェクト	5年間（H28～R2）で重点的に取り組む事業	
1 人づくり	(1) 未来を担う人材の育成	ア 心豊かでたくましい「呉の子ども」を育てる教育の推進	(ア) 特色ある呉の教育の推進 (イ) 小中一貫教育の推進 (ウ) 小中学校施設の建替え (エ) 小中学校普通教室への空調設備の設置 (オ) 文化・スポーツ応援事業 (カ) 安浦中学校給食室の整備 (キ) タブレットを活用した教育の推進
		イ 高等学校教育の充実	(ア) 呉高等学校教育備品のICT化の推進 (イ) 呉高等学校施設の耐震化 (ウ) 呉高等学校選択教室への空調設備の設置

(2) 基本政策

まちづくり分野	基本政策	基本施策	5年間（H28～R2）で取り組む代表的な施策	
1 教育分野	(1) 学校教育	ア 幼児教育の充実	(ア) 幼児教育の充実	
		イ 義務教育の充実	(ア) 教育内容の充実 (イ) 特別支援教育の推進 (ウ) いじめなどの問題行動や不登校への取組 (エ) 安全・安心な環境づくり (オ) 教育環境の整備 (カ) 地域に開かれた特色ある学校づくり (キ) 企業・高等教育機関等との連携	
		ウ 高等学校教育の充実	(ア) 学力の向上による進路実現 (イ) 地域・社会に貢献する人材の育成 (ウ) 教育環境の整備 (エ) 高等学校教育の振興	
	(2) 社会教育	ア 家庭教育・青少年教育の充実	(ア) 保護者の教育力の向上 (イ) 地域の教育力の活用 (ウ) 青少年育成活動の推進	
		(3) 文化・スポーツ	ア 文化の振興	(ア) 質の高い文化芸術に触れる機会の拡充 (イ) 市民の文化芸術活動の振興 (ウ) 文化芸術活動を推進する環境整備 (エ) 文化財の保存と活用 (オ) 伝統文化の継承 (カ) 文化財を活用した地域振興 (キ) 歴史資料の整理・研究の推進

令和元年度点検・評価シート

評価対象年度 平成30年度

整理番号	1	部課G名	教育部教育総務課企画グループ
点検項目	遠距離等通学児童生徒に対する支援	1次評価者	教育総務課長 安倍広志
		作成年月日	令和元年5月10日

1 点検項目の位置付け・根拠

予算科目	会計	01 一般会計	総合計画等	<input type="checkbox"/> 総合計画 重点プロジェクト		
	款	19 教育費		<input type="checkbox"/> 地方創生関連		
	項	01 教育総務費		<input type="checkbox"/> 合併建設計画		
	目	10 教育指導費		<input type="checkbox"/> 過疎地域自立促進計画		
	事業	11 学事費		<input type="checkbox"/> 呉市アウトソーシング推進計画		
	細事業	18 通学支援事業		<input type="checkbox"/> 呉市公共施設再配置計画 1次 2次 3次		
事業類型	<input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業開始年度	平成17年度		
	<input type="checkbox"/> 国の法令・県条例により義務付けられているもの		実施根拠(法令, 条例, 個別計画等)	・呉市遠距離等通学費補助金交付要綱 ・呉市補助金等交付規則		
	<input checked="" type="checkbox"/> 市任意事務					

2 点検項目の概要

(1) 対象 誰・何を対象に	呉市立学校の児童生徒及び保護者											
(2) 事業概要 (事業内容) 手段・方法・年次計画など	<p>1 遠距離等通学費補助制度</p> <p>児童生徒が、遠距離や通学上の危険要因等により、学校長の許可を得て公共交通機関を利用して通学する場合に、その定期代相当額を保護者に補助する。</p> <p>(1) 補助率 10/10 ※ 6か月定期券の券面額を補助の上限とするため、割引率の低い短い期間の定期券を購入した場合は、全額補助とならない。</p> <p>(2) 保護者負担の軽減を図るため、基本的に定期券の現物支給により補助する。</p> <p>2 スクールバス・タクシー運行业務</p> <p>徒歩・自転車での通学が困難で、かつ、公共交通機関を利用して通学することが困難な地域に住む児童生徒に対して、スクールバス・タクシーを運行する。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td rowspan="3">運行状況</td> <td>車両所有者</td> <td>地 区</td> </tr> <tr> <td>呉市</td> <td>下蒲刈, 倉橋, 蒲刈</td> </tr> <tr> <td>業者</td> <td>昭和, 吉浦, 倉橋, 安浦, 豊浜, 豊</td> </tr> </table>					運行状況	車両所有者	地 区	呉市	下蒲刈, 倉橋, 蒲刈	業者	昭和, 吉浦, 倉橋, 安浦, 豊浜, 豊
運行状況	車両所有者	地 区										
	呉市	下蒲刈, 倉橋, 蒲刈										
	業者	昭和, 吉浦, 倉橋, 安浦, 豊浜, 豊										
(3) 実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input checked="" type="checkbox"/> 補助事業 <input type="checkbox"/> その他											
(4) 意図・目的 対象をどのような状態にしたいのか	児童生徒の通学手段及び通学時の安全を確保するとともに、保護者の経済的負担の軽減を図る。		(5) 成果指標 指標名と説明	①児童生徒の通学に係る保護者の経済的負担軽減額 ②スクールバス・タクシーの安全な運行状況								

3 投入資源・活動実績

		区分	単位	H28(決算)	H29(決算)	H30(決算)	R1(予算)	R2(試算)	
投入資源	事業費	財源内訳	国庫支出金 ①	千円	7,472	7,258	5,003	3,096	3,096
			県支出金 ②	千円	1,494	1,451	1,000	619	619
			地方債 ③	千円	3,500	3,400	2,500	3,100	3,100
			その他 ④	千円					
			一般財源 ⑤	千円	114,068	105,030	95,514	109,330	109,330
	【A】(①+②+③+④+⑤)			千円	126,534	117,139	104,017	116,145	116,145
	人件費	人役	正規職員(8,022千円/年) ①	人役	1.70	1.70	1.70	1.70	1.70
			再任用職員(3,447千円/年) ②	人役					
			嘱託職員(2,168千円/年) ③	人役					
			上記以外 ④	千円					
【B】①×⑧,022千円+②×③,447千円+③×②,168千円			千円	13,637	13,637	13,637	13,637	13,637	
フルコスト【A】+【B】			千円	140,171	130,776	117,654	129,782	129,782	
活動実績	対象指標	① 児童生徒数(5/1現在)	人	小 10,632 中 5,387	小 10,570 中 5,128	小 10,435 中 5,091	小 10,390 中 4,933	小 10,390 中 4,933	
		② 遠距離等通学費補助対象校	校	小 19/36 中 18/26	小 19/36 中 18/26	小 19/36 中 18/26	小 19/36 中 18/26	小 19/35 中 17/25	
		③ スクールバス・タクシー対象校	校	小 7/36 中 2/26	小 9/36 中 2/26	小 8/36 中 2/26	小 8/36 中 2/26	小 7/35 中 3/25	
	活動指標	① 遠距離等通学費補助金交付人数	人	小 1,160 中 813	小 1,086 中 746	小 1,022 中 683	小 1,011 中 730	小 1,011 中 730	
		② スクールバス・タクシー利用児童生徒数	人	小 240 中 64	小 294 中 55	小 219 中 44	小 231 中 41	小 231 中 41	
	成果指標	① 保護者の経済的負担軽減額(遠距離等通学費補助額)	千円	小 38,618 中 52,776	小 36,314 中 49,190	小 33,611 中 42,557	小 34,247 中 48,431	小 34,247 中 48,431	
		② スクールバス・タクシーの安全な運行(事故件数)	件数	事故 0件	事故 0件	事故 0件	事故 0件	事故 0件	
	特記事項	<p>平成30年度は、平成30年7月豪雨災害への対応として、次の通学支援事業も実施した。</p> <p>①対象者：豪雨災害により、通学手段を失ったり、転居等により公共交通機関やスクールバス・タクシーを利用して通学する必要が生じた児童生徒のうち、引き続き被災前の学校に通学することを希望する者及びその保護者②支援内容：公共交通機関の定期券代相当額の全額補助、スクールバス・タクシーの運行③平成30年度決算額：4,052千円(内国庫補助2,025千円)</p>							

4 学識経験者の意見

・平成30年7月豪雨災害のときも、迅速な対応をしていただいた。今後も、子どもたちの安全を優先に事業を実施していただきたい。

5 担当課の評価

(1) 自己評価・点検	<p>評価結果</p> <p style="font-size: 2em; text-align: center;">A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・遠距離等通学費補助制度により、児童生徒の通学に係る保護者の経済的負担を軽減した。 ・スクールバス・タクシーの運行により、安全な通学手段を確保した。 ・生活バスとスクールバスが重複して運行する路線の整理をした。
(2) 現在の課題と課題解決の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・委託業者との運行契約について、複数年契約の導入が可能な路線がないか検討する。 ・運行契約の安全運行に関わる条項の見直しを検討する。 	
(3) 今後の方向性(見直しによる効果で数値化できるものがあれば併せて記載してください。)	<ul style="list-style-type: none"> ・複数年契約の拡大により、より安価で、より安全なスクールバス・タクシーの運行を確保する。 ・運行契約の安全運行に関わる条項の見直しにより、スクールバス・タクシーのより一層の安全運行を確保する。 ・遠距離等通学費補助制度とスクールバス・タクシーの運行の継続により、児童生徒の通学手段及び通学時の安全の確保と保護者の経済的負担の軽減を図る。 	

振り返り項目	<p>昨年度の今後の方向性(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遠距離等通学費補助制度の継続による児童生徒の通学の安全確保及び保護者の経済的負担の軽減 ・市所有バスをスクールバスとして継続して使用すること及び当該バスの老朽化に備えた業者所有バス等への移行の検討 	<p>昨年度の方向性に対する取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の通学の安全を確保し、また、保護者の経済的負担を軽減した。 ・市所有バスを継続して使用するため、車両点検の徹底を図り、異常があれば早めの修理を実施した。
--------	--	---

令和元年度点検・評価シート

評価対象年度	平成30年度
--------	--------

整理番号	2	部課G名	学校施設課 施設G
点検項目	小中学校のブロック塀対策	1次評価者	課長 森川 英司
		作成年月日	令和元年5月21日

1 点検項目の位置付け・根拠

予算科目	会計	01 一般会計	総合計画等	<input type="checkbox"/> 総合計画 重点プロジェクト
	款	19 教育費		<input type="checkbox"/> 地方創生関連
	項	小学校費(中学校費)		<input type="checkbox"/> 合併建設計画
	目	01 学校管理費		<input type="checkbox"/> 過疎地域自立促進計画
	事業	小学校施設整備費(中学校施設整備費)		<input type="checkbox"/> 呉市アウトソーシング推進計画
細事業	小学校施設整備事業(中学校施設整備事業)	<input type="checkbox"/> 呉市公共施設再配置計画	1次 2次 3次	
事業類型	<input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業開始年度	平成30年度
	<input checked="" type="checkbox"/> 国の法令・県条例により義務付けられているもの		実施根拠(法令, 条例, 個別計画等)	学校教育法第5条 建築基準法施行令
	<input type="checkbox"/> 市任意事務			

2 点検項目の概要

(1) 対象	呉市立小中学校の児童生徒及び教職員		
誰・何を対象に			
(2) 事業概要 (事業内容)	<p>・平成30年6月早朝に大阪府北部を襲った最大震度6弱の地震により、高槻市において倒壊したブロック塀に挟まれるなどの事故があった。これを受け、教育委員会職員が緊急点検を行った結果、ブロック塀の高さや控え壁の有無など、建築基準法施行令に不適合であるブロック塀があることが判明したため、フェンス等の計画的な改修を行う。</p> <p>【調査対象】 ・小学校38校(休校2校を含む。), 中学校28校(休校2校を含む。)の合計66校</p> <p>【調査結果】(建築基準法施行令不適合及び健全度合の悪いもの) ・小学校21校(プール周りのブロック塀を含む。), 中学校13校の合計34校</p> <p>【現在の対応】 ・道路に面するブロック塀など児童・生徒や地域住民が被害を受ける危険性があるものについては、カラーコーンや注意喚起の張り紙を設置し、当該箇所付近に近づかないよう指導するとともに保護者へ通知した。 ・大阪の小学校と形状が類似していた両城小学校プールブロック塀については、平成30年7月に既に撤去している。</p> <p>【スケジュール】 ・国の平成30年度補正予算において創設された国庫補助制度(ブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金)を活用し、特に緊急性の高いものについては、平成30年12月補正予算に計上し、残りは令和2年度当初予算で対応する。 (平成30年12月補正予算対象校) ・小学校: 両城小学校外11校, 中学校: 阿賀中学校外3校の合計16校 (令和2年度当初予算対象予定校) ・小学校: 白岳小学校外8校, 中学校: 郷原中学校外8校の合計18校</p> <p>【進捗状況】 ・平成30年12月補正予算計上分については、平成31年度へ繰り越し、測量・設計及び工事を継続中 ・プール周りのブロック塀については、プール授業開始に間に合うよう6月末の工期で目隠しフェンス等に改修する工事を施工した。 ・その他のブロック塀については、今年度末までに危険なブロック塀を解体撤去しフェンスを設置する。</p>		
手段・方法・年次計画など			
(3) 実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 補助事業 <input type="checkbox"/> その他		
(4) 意図・目的	児童・生徒・教職員及び地域住民が、安心して安全な学校生活を送れるよう、危険なブロック塀を解体・撤去する。	(5) 成果指標	調査結果において問題のあった34校について令和2年度までの施工完了を目指す。
対象をどのような状態にしたいのか		指標名と説明	

3 投入資源・活動実績

		区分	単位	H28(決算)	H29(決算)	H30(決算)	R1(予算)	R2(試算)	
投入資源	事業費	財源内訳	国庫支出金 ①	千円				28,320	28,320
			県支出金 ②	千円					
			地方債 ③	千円			10,800	123,600	123,600
			その他 ④	千円					
			一般財源 ⑤	千円			2,887	6,480	6,480
			【A】(①+②+③+④+⑤)	千円	0	0	13,687	158,400	158,400
	人件費	人役	正規職員(8,022千円/年) ①	人役			2.00	4.00	4.00
			再任用職員(3,447千円/年) ②	人役					
			嘱託職員(2,168千円/年) ③	人役					
			上記以外 ④	千円					
【B】①×⑧,022千円+②×③,447千円+③×②,168千円			千円	0	0	16,044	32,088	32,088	
		フルコスト【A】+【B】	千円	0	0	29,731	190,488	190,488	
活動実績	対象指標	① 学校数(休校を含む。)	校			66	66	64	
		② 児童・生徒数	人			15,526	15,323	15,323	
	活動指標	① 学校にブロック塀を有している学校数	校			49	33	15	
		② 上記の総延長	m			7,340	5,770	4,792	
	成果指標	① 建築基準法施行令不適合などのブロック塀を保有している学校数	校			34	18	0	
		② 上記の総延長	m			2,548	978	0	
特記事項									

4 学識経験者の意見

<ul style="list-style-type: none"> ・学校はもちろん、通学路のブロック塀についても危険な箇所が多いと思うので、他部署とも連携を取り、安全面の確保をお願いしたい。 ・フェンス等の改修について、一度やればいいというものでもないと思うので、定期的に計画を立てて点検をしてほしい。

5 担当課の評価

(1) 自己評価・点検	<p>評価結果</p> <p style="font-size: 2em; text-align: center;">A</p>	<p>平成30年7月豪雨災害の復興業務の中、営繕課及び土木整備課の協力を得て、平成30年度末までに11校の工事発注ができた。</p> <p>残りの学校についても、測量・設計業務終了後、工事発注を行い、年度末までの施工完了を目指す。</p>
(2) 現在の課題と課題解決の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・フェンスの設置に当たり、学校敷地と民地の境界が不明な学校があり、境界確認に時間を要している。 ・土地家屋調査士に依頼し、民地との境界確認を行った(平成30年度に1件:宮原小学校)。 	
(3) 今後の方向性(見直しによる効果で数値化できるものがあれば併せて記載してください。)	<p>令和2年度に施工予定の学校の中で境界が不明な学校については、スムーズな測量・調査に取り掛かれるよう、今年度中に現地の所有者確認などの事前調査を行う。</p>	

振り返り項目	昨年度の今後の方向性(概要)	昨年度の方向性に対する取組状況

令和元年度点検・評価シート

評価対象年度	平成30年度
--------	--------

整理番号	3	部課G名	教育部 学校教育課 小中一貫教育指導G
点検項目	小中一貫教育の推進	1次評価者	課長 高橋 伸治
		作成年月日	令和元年5月10日

1 点検項目の位置付け・根拠

予算科目	会計	01	一般会計	総合計画等	■ 総合計画 重点プロジェクト			
	款	19	教育費		<input type="checkbox"/> 地方創生関連			
	項	10	中学校費		<input type="checkbox"/> 合併建設計画			
	目	05	教育振興費		<input type="checkbox"/> 過疎地域自立促進計画			
	事業	10	中学校教科等研修・研究費		<input type="checkbox"/> 呉市アウトソーシング推進計画			
	細事業	12	小中一貫教育推進事業外3事業		<input type="checkbox"/> 呉市公共施設再配置計画	1次	2次	3次
事業類型	<input type="checkbox"/> 法定受託事務			事業開始年度	平成19年度			
	<input type="checkbox"/> 国の法令・県条例により義務付けられているもの			実施根拠(法令、条例、個別計画等)	学習指導要領 呉市小中一貫教育研究事業等補助金交付要綱 小中一貫教育推進加配講師措置要領			
	<input checked="" type="checkbox"/> 市任意事務							

2 点検項目の概要

(1) 対象	呉市立小中学校の児童生徒及び教職員								
誰・何を対象に									
(2) 事業概要 (事業内容)	<p>1 小中一貫教育推進加配講師の配置</p> <p>(1) 中学校区内の小学校5・6年生の合計学級数が原則7以上となる中学校に非常勤講師を配置し、乗り入れ授業が行えるようにした。</p> <p>(2) 小学校3年生から6年生の全クラスで、週1時間以上担任とチーム・ティーチング(TT)ができるように(ALTを含む。), 非常勤講師を配置し、小学校の外国語教育の研究を推進するとともに、中学校への円滑な接続を図った。</p> <p>2 小中一貫教育研究指定事業の実施(平成19年度～)</p> <p>(1) 小中一貫教育の実践的研究を行うため、中学校区を指定し、補助金を交付した。</p> <p>(2) 指定中学校区による公開研究発表会を開催した。 平成30年度実施: 白岳中学校区, 阿賀中学校区, 宮原中学校区, 両城中学校区</p> <p>3 教職員の資質向上に向けた研修会の実施</p> <p>(1) 小中一貫教育推進コーディネーター研修会の実施(平成19年度～) 中学校区で設定した資質・能力の育成に向け、組織的に取組を進めるための視点と手法を学ばせるため、外部有識者を招へいして1回実施した。</p> <p>(2) ブロック別学校経営研修会 小中一貫教育の一層の充実を図るため、会場校による取組提案や授業参観を踏まえ、管理職が合同で協議等を行う研修を年2回実施した。</p> <p>(3) 呉市「学びの変革」推進研修会 各中学校区における資質・能力の育成を目指し、カリキュラムマップに基づいた教育活動の展開及び「課題発見・解決学習」の実践・検証をするための授業研究の進め方等を学ばせるための研修を年3回実施した。</p>								
手段・方法・年次計画など									
(3) 実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input checked="" type="checkbox"/> 補助事業 <input type="checkbox"/> その他								
(4) 意図・目的	義務教育9年間で修了するにふさわしい学力と社会性を育成する。				(5) 成果指標	① 広島県「基礎・基本」定着状況調査結果における県平均との差(小学校5年生時と中学校2年生時)の推移 ※県平均を0とする ② 全国学力・学習状況調査結果の全国平均との差 ③ 中学生の暴力行為発生件数, 中学生のいじめ認知件数, 中学生の不登校生徒数			
対象をどのような状態にしたいのか					指標名と説明				

3 投入資源・活動実績

区分		単位	H28(決算)	H29(決算)	H30(決算)	R1(予算)	R2(試算)		
投入資源	事業費	財源内訳							
		国庫支出金 ①	千円	14,855	16,010	12,531	12,000	12,000	
		県支出金 ②	千円	405	0				
		地方債 ③	千円						
		その他 ④	千円	126	101	76	75	75	
	一般財源 ⑤	千円	16,999	16,394	17,201	20,351	20,351		
	【A】(①+②+③+④+⑤)		千円	32,385	32,505	29,808	32,426	32,426	
	人件費	人役	正規職員(8,022千円/年) ①	人役	6.79	5.78	5.61	5.61	5.61
			再任用職員(3,447千円/年) ②	人役					
			嘱託職員(2,168千円/年) ③	人役					
上記以外 ④			千円						
【B】(①×⑧,022千円+②×③,447千円+③×②,168千円)		千円	54,469	46,367	45,003	45,003	45,003		
フルコスト【A】+【B】		千円	86,854	78,872	74,811	77,429	77,429		
活動実績	対象指標	① 呉市立小学校児童数(基準日5/1)	人	10,632	10,570	10,435	10,390	—	
		呉市立中学校生徒数(基準日5/1)	人	5,387	5,128	5,091	4,933	—	
		② 呉市立小学校教職員数	人	673	673	667	690	—	
		呉市立中学校教職員数	人	460	443	445	456	—	
	活動指標	① 研究指定校数	校	12	8	8	9	12	
		② 小中一貫教育研究会開催数	回	6	4	4	4	5	
	成果指標	①	広島県「基礎・基本」定着状況調査(小5→中2の推移)	ポイント	国語 算・数 0.7 1.3	国語 算・数 0.7 1.3	実施なし	—	—
			全国学力・学習調査結果全国平均値との差(小学校国語, 中学校国語)	ポイント	小 11.8 中 5.8	小 4.7 中 3.4	小 11.6 中 3.7	—	—
		②	全国学力・学習調査結果全国平均値との差(小学校算数, 中学校数学)	ポイント	小 5.7 中 5.2	小 4.5 中 3.3	小 8.0 中 4.0	—	—
			中学生の暴力行為発生件数	件	53	37	39	—	—
		③	中学生のいじめ認知件数	件	61	83	65	—	—
			中学生の不登校生徒数	人数	107	110	86	—	—
	特記事項	H28の県支出金は、学力向上チャレンジ校事業に対する委託金である。							

4 学識経験者の意見

・呉市の小中一貫教育は、かなり成果が上がってきていると思う。しかし、新学習指導要領の実施や働き方改革が言われている中で、教員に負荷する業務と負担軽減という点で整合性が取れなくなってきているので、教員の増員を要求してほしい。
 ・教員同士の連携も資質の向上につながるので、教員が連携しやすい環境づくりにも力を入れてほしい。

5 担当課の評価

(1) 自己評価・点検	評価結果	<p>・小中一貫教育研究指定事業等により研究・実践が進み、全国学力・学習状況調査において、平成25年度以降、全ての教科で全国平均を上回っており、学力が向上したことを検証できた。</p> <p>A</p> <p>・各研修会や研究指定事業等を活用し、「資質・能力の育成」に向けた理論研修や取組の実践の普及を進め、各学校でカリキュラムマップ及びカリキュラムマップに基づいた学習指導案を全ての小中学校でホームページに掲載することができた。</p> <p>・全小学校の3～6年生に対して、新学習指導要領の外国語活動の先行実施を行うことができた。</p>
(2) 現在の課題と課題解決の取組	<p>・特定の生徒が暴力行為を繰り返す傾向にあるので、スクールサポーターの派遣を始めた未だ未然防止の取組や自尊感情を高める取組を継続するとともに、児童生徒一人一人の実態に応じた指導の更なる充実を図る。</p> <p>・中学校においても、「課題発見・解決学習」を取り入れた授業改善が進んできているが、小中学校ともに、児童生徒が「考える授業づくり」を行う必要がある。さらに、小中学校ともに「主体的・対話的で深い学び」が実現するよう、カリキュラムマップの中心に据える総合的な学習の時間の整備を行うことが必要である。</p> <p>・新学習指導要領の全面実施に向け、引き続き研修会を実施し、小学校における外国語科の指導方法や指導体制の充実を図る。</p>	
(3) 今後の方向性(見直しによる効果があれば併せて記載してください。)	<p>・学校との連携を密に図り、実態把握を確実にし、各学校における組織的な指導の在り方や個に応じた指導方法について、研修の充実を図る。</p> <p>・「主体的・対話的で深い学び」が実現するよう、総合的な学習の時間の充実や「課題発見・解決学習」を取り入れた「考える授業づくり」の推進のための研修会を実施する(総合的な学習の時間の学習指導案を学校ホームページに掲載している学校10%とする。)</p> <p>・新学習指導要領の全面実施に向け、小学校における外国語科の指導方法等についての研修を実施する。</p>	

振り返り項目	<p>昨年度の今後の方向性(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別指導の充実と分かる授業づくり ・カリキュラムマップに基づいた実践の在り方や授業改善に関する研修の充実 ・小学校における英語指導力向上に向けた取組の充実 	<p>昨年度の方向性に対する取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究会や学校訪問等で、個別指導の在り方や分かる授業づくりについて指導・助言を行った。 ・授業提案を基に学び合える学校を会場とした研修会や呉市内全教員に呉市の授業改善の方針「考える授業の創造」を周知する研修会を実施した(全ての小・中学校のホームページに改善したカリキュラムマップ、カリキュラムマップに基づいた学習指導案を掲載した。) ・平成31年度版外国語活動年間指導計画等を作成し、全小学校に配布するとともに、それらの活用に向け、県の方針に沿った呉市での研修会を実施した。
--------	--	--

令和元年度点検・評価シート

評価対象年度 平成30年度

整理番号	4	部課G名	教育部 学校教育課 小中一貫教育指導G
点検項目	文化・芸術体験活動の推進	1次評価者	課長 高橋 伸治
		作成年月日	令和元年5月10日

1. 点検項目の位置付け・根拠

予算科目	会計	01	一般会計	総合計画等	■ 総合計画 重点プロジェクト		
	款	19	教育費		<input type="checkbox"/> 地方創生関連		
	項	05	小学校費		<input type="checkbox"/> 合併建設計画		
	目	05	教育振興費		<input type="checkbox"/> 過疎地域自立促進計画		
	事業	11	小学校児童指導・行事費		<input type="checkbox"/> 呉市アウトソーシング推進計画		
	細事業	10	小学校文化行事事業 外1事業		<input type="checkbox"/> 呉市公共施設再配置計画	1次	2次
事業類型	<input type="checkbox"/> 法定受託事務			事業開始年度	平成25年度		
	<input type="checkbox"/> 国の法令・県条例により義務付けられているもの			実施根拠(法令, 条例, 個別計画等)	学習指導要領		
	<input checked="" type="checkbox"/> 市任意事務						

2. 点検項目の概要

(1) 対象	呉市立小中学校の児童生徒					
誰・何を対象に						
(2) 事業概要 (事業内容)	<p>1 和洋音楽ふれあい事業</p> <p>■ 目的 我が国の伝統的な音楽や世界各国の音楽に触れることにより、音楽的感性を育てる。</p> <p>■ 内容 オーケストラ鑑賞教室…広島交響楽団による参加型の演奏会(小5, 36校) 洋楽鑑賞会…ピアノ, バイオリン等の鑑賞(25校) 邦楽鑑賞会…琴, 三味線, 尺八等の鑑賞(小5・小6, 18校)(中1~3, 9校) 中学校吹奏楽クリニック(豪雨災害のため中止) 呉市立中学校夏の演奏会(豪雨災害のため中止)</p> <p>2 美術作品ふれあい事業(全小学校が参加)</p> <p>■ 目的 呉市立美術館と蘭島閣美術館等の美術作品に触れることにより、美術的感性を育てる。</p> <p>■ 内容 呉市立美術館での美術作品の鑑賞(小4, 36校) 蘭島閣美術館等での美術作品の鑑賞(小6, 36校)</p> <p>3 ふるさと文化探訪事業(全小学校が参加)</p> <p>■ 目的 「日本遺産」の構成文化財がある入船山記念館や大和ミュージアム, また国の「重要伝統的建造物群保存地区」に指定されている御手洗地区を訪ねることで、呉市の文化と歴史を知り、郷土呉市を愛する心を育てる。</p> <p>■ 内容 入船山記念館の見学(小4, 36校) 大和ミュージアム館内の見学(小5, 36校) 御手洗町並み保存地区の見学(小6, 36校)</p>					
(3) 実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 補助事業 <input type="checkbox"/> その他					
(4) 意図・目的	未来を担う子どもたちに、郷土の歴史や文化・芸術に触れる体験をさせることにより、豊かな感性と郷土を愛する心を育てる。			(5) 成果指標		
対象をどのような状態にしたいのか				指標名と説明 ① 連合音楽会実施率 ② 大和ミュージアム見学実施率 ③ 美術作品ふれあい事業, ふるさと文化探訪事業実施率		

3 投入資源・活動実績

		区分	単位	H28(決算)	H29(決算)	H30(決算)	R1(予算)	R2(試算)	
投入資源	事業費	財源内訳	国庫支出金 ①	千円					
			県支出金 ②	千円					
			地方債 ③	千円	3,200	3,100	3,100	3,500	3,500
			その他 ④	千円				4,952	4,952
			一般財源 ⑤	千円	8,415	8,098	7,974	4,147	4,147
	【A】(①+②+③+④+⑤)			千円	11,615	11,198	11,074	12,599	12,599
	人件費	人役	正規職員(8,022千円/年) ①	人役	1.81	2.36	2.14	2.14	2.14
			再任用職員(3,447千円/年) ②	人役					
			嘱託職員(2,168千円/年) ③	人役					
			上記以外 ④	千円					
【B】①×⑧,022千円+②×③,447千円+③×②,168千円			千円	14,520	18,932	17,167	17,167	17,167	
フルコスト【A】+【B】			千円	26,135	30,130	28,241	29,766	29,766	
活動実績	対象指標	①【連合音楽会】【大和M】小学校数	校	36	36	36	36	-	
		②【美術作品ふれあい】【ふるさと文化探訪】対象人数(4,6年生)	人	3,460	3,581	3,455	3,564	3,515	
	活動指標	①【連合音楽会】実施校	校	18	18	18	-	-	
		②【大和M】見学実施校	校	36	36	36	36	36	
		③【美術作品ふれあい】【ふるさと文化探訪】対象人数(4,6年生)	人	3,460	3,581	3,455	3,564	3,515	
	成果指標	①【連合音楽会】実施率	%	50	50	50	-	-	
		②【大和M】実施率	%	100	100	100	100	100	
		③【美術作品ふれあい】【ふるさと文化探訪】実施率	%	100	100	100	100	100	
	特記事項	【連合音楽会】は、令和元年度からこれまでの「オーケストラ鑑賞教室」と事業を一本化し、「オーケストラ鑑賞教室〜くれリンクアップコンサート〜」に統合した。							

4 学識経験者の意見

<ul style="list-style-type: none"> ・以前より子どもたちのマナーが良くなってきており、とても良い取組である。 ・可能な限り、保護者なども一緒にできるようにするといいいのではないか。 ・目的がはっきりしていれば、一生懸命取り組むきっかけづくりにもなる。

5 担当課の評価

(1) 自己評価・点検	<p>評価結果</p> <p style="font-size: 2em; text-align: center;">A</p> <p>・日本の伝統音楽に対する理解が深まり、音楽に対する関心意欲と技能が向上した。また、演奏会やホールでのマナーについて、学校での事前指導やホール到着後の指導により、児童のマナーについて意識も高まった。</p> <p>・ふるさと文化探訪事業(大和ミュージアム見学)に係る学習を、各教科等(総合的な学習の時間、社会科又は学校行事)に位置付けるとともに、大和ミュージアムのワークシートを活用することにより事前学習の充実を図った。</p>
(2) 現在の課題と課題解決の取組	<p>・御手洗町並み保存地区の旧金子家住宅が見学できるようになったため、見学コースの見直しを行う。</p> <p>・各学校の連合音楽会への参加は隔年で、主に学級単位での参加であることから、体験できる児童が限られている。対象児童を広げ、より主体的な参加ができる音楽会「オーケストラ鑑賞教室〜くれリンクアップコンサート〜」を開催する。</p>
(3) 今後の方向性(見直しによる効果で数値化できるものがあれば併せて記載してください。)	<p>・御手洗町並み保存地区の見学について文化振興課と連携を図り、旧金子家住宅や乙女座の見学にガイドを付け、重要伝統的建造物群保存地区の理解を深められるようにしていく。</p> <p>・小学校5年生を対象としたオーケストラ鑑賞教室〜くれリンクアップコンサート〜を開催する。主体的な学びを進めることができる音楽プログラムを年間計画に位置付けさせるとともに、教員が指導方法を学ぶための研修会も開催する。</p>
振り返り項目	<p>昨年度の今後の方向性(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童・指導者対象の学習後のアンケート結果を基に、ふるさと文化探訪事業(大和ミュージアム)の学習内容の見直しを行うとともに、事前学習の充実を図る。 ・令和元年度から、オーケストラ鑑賞教室と連合音楽会の二つの事業を一本化し、主体的な学びを進めることができる事業実施を検討していく。 <p>昨年度の方向性に対する取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと文化探訪事業(大和ミュージアム)の学習内容を3コースから2コースに変更した。また、ワークシートを配付し、事前学習の充実を図った。 ・呉市内の全5年生を対象として、主体的な学びを進めることができる音楽プログラムを作成し、授業と音楽会が連動する事業実施について企画した。

令和元年度点検・評価シート

評価対象年度	平成30年度
--------	--------

整理番号	5	部課G名	教育部学校安全課生徒指導G
点検項目	特別支援教育の推進	1次評価者	学校安全課長 栩田 隆志
		作成年月日	令和元年5月10日

1 点検項目の位置付け・根拠

予算科目	会計	01 一般会計	総合計画等	<input type="checkbox"/> 総合計画 重点プロジェクト		
	款	19 教育費		<input type="checkbox"/> 地方創生関連		
	項	01 教育総務費		<input type="checkbox"/> 合併建設計画		
	目	10 教育指導費		<input type="checkbox"/> 過疎地域自立促進計画		
	事業	10 教育指導費		<input type="checkbox"/> 呉市アウトソーシング推進計画		
	細事業	11 特別支援教育推進事業		<input type="checkbox"/> 呉市公共施設再配置計画 1次 2次 3次		
事業類型	<input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業開始年度			
	<input type="checkbox"/> 国の法令・県条例により義務付けられているもの		実施根拠(法令, 条例, 個別計画等)	<input type="checkbox"/> 呉市就学指導委員会規則 <input type="checkbox"/> 特別支援教育相談員設置要綱 <input type="checkbox"/> 特別支援学級指導員派遣要綱 <input type="checkbox"/> 学校教育指導補助員派遣要綱		
	<input checked="" type="checkbox"/> 市任意事務					

2 点検項目の概要

(1) 対象 誰・何を対象に	呉市立小中学校の児童生徒						
(2) 事業概要 (事業内容) 手段・方法・年次計画など	1 特別支援教育支援員の配置 ア 特別支援学級指導員: 特別支援学級における児童生徒の指導の援助 イ 学校教育指導補助員: 通常の学級に在籍する発達障害のある児童生徒の指導の援助						
		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		人数	派遣校	人数	派遣校	人数	派遣校
		特別支援学級指導員	51人 27校	51人 26校	51人 28校	51人 28校	28校
		学校教育指導補助員	52人 34校	52人 30校	58人 33校	58人 33校	33校
	2 教職員の指導力向上及び特別支援教育推進のための環境・体制づくり (1) 専門家の巡回相談による校内研修の実施						
		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		37校	67回	40校	81回	45校	86回
	(2) 「呉市のスタンダード(「掲示」「ロッカー」「机・椅子」)」の取組を全ての小中学校で実施						
	3 就学指導の充実にに向けた取組 (1) 就学相談を受けた就学前児童数 (()内は就学指導方針と異なる就学先を決定した児童の割合)						
		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		59人(10%)	79人(4%)	91人(12%)	91人(12%)	91人(12%)	91人(12%)
	(2) 呉市ホームページへの掲載や就学相談案内の配布等による積極的な周知・働き掛け						
	(3) 市内全保育所・幼稚園との連携を基にした丁寧な就学相談や就学指導の実施						
	4 保幼小中連携の充実にに向けた取組 (1) 呉市保幼小連携に関する代表者会の実施 (2) 保幼小中合同研修会の実施 (3) 保幼小中で様式を統一した「個別の教育支援計画」による連携						
(3) 実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 補助事業 <input type="checkbox"/> その他						
(4) 意図・目的 対象をどのような状態にしたいのか	・障害のある児童生徒の自立や社会参画につなげるため、個々の実態に応じて適切な指導及び必要な支援を行う。 ・教職員の指導力を向上する。			(5) 成果指標 指標名と説明		①特別支援学級指導員の必要人数に対する配置人数 ②学校教育指導補助員の必要人数に対する配置人数	

3 投入資源・活動実績

		区分	単位	H28(決算)	H29(決算)	H30(決算)	R1(予算)	R2(試算)	
投入資源	事業費	財源内訳	国庫支出金 ①	千円	56,882	61,914	83,853	53,000	53,000
			県支出金 ②	千円					
			地方債 ③	千円					
			その他 ④	千円	561	422	434	442	442
			一般財源 ⑤	千円	101,213	98,177	79,326	112,948	112,948
	【A】(①+②+③+④+⑤)			千円	158,656	160,513	163,613	166,390	166,390
	人件費	人役	正規職員(8,022千円/年) ①	人役	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20
			再任用職員(3,447千円/年) ②	人役					
			嘱託職員(2,168千円/年) ③	人役					
			上記以外 ④	千円					
【B】①×⑧,022千円+②×③,447千円+③×②,168千円			千円	9,626	9,626	9,626	9,626	9,626	
フルコスト【A】+【B】			千円	168,282	170,139	173,239	176,016	176,016	
活動実績	対象指標	① 小中学校児童生徒数(児童数)	人	16,019 (10,632)	15,698 (10,570)	15,526 (10,435)	15,323 (10,390)	—	
		② 特別支援学級在籍児童生徒数(児童数)	人	345 (239)	358 (247)	374 (279)	412 (308)	—	
		③ 通常の学級に在籍する発達障害のある児童生徒数(児童数)	人	330 (185)	371 (228)	408 (264)	358 (230)	—	
	活動指標	① 特別支援学級指導員配置数	人	51	51	51	51	—	
		② 学校教育指導補助員配置数	人	52	52	58	58	—	
		③ 特別支援教育相談員配置数	人	1	1	1	1	—	
		④ 巡回相談実施件数	件	67	81	86	90	—	
	成果指標	① 特別支援学級指導員の配置人数/必要人数	人	51/51	51/51	51/51	51/51	—	
		② 学校教育指導補助員の配置人数/必要人数	人	52/52	52/52	58/58	58/58	—	
	特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・事業費には、特別支援学級指導員、特別支援教育相談員及び学校教育指導補助員の報酬を含む。 ・財源内訳の①「国庫支出金」は、特定防衛施設周辺整備調整交付金(平成24年度から) 							

4 学識経験者の意見

<ul style="list-style-type: none"> ・病院で受診して診断が下りるまでが難しいと思うので、そこにこぎつけるまで、家庭との連携をもっと強めてほしい。 ・コーディネーターからの情報もとても重要だと思うので、コーディネーターとの連携も強化してほしい。 ・多様な子がいる中で、支援が必要な子が増えている。全教職員が様々な知見を学ぶ機会があれば良い。

5 担当課の評価

(1) 自己評価・点検	<p>評価結果</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em;">A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育支援員を学校の実態に応じて配置することができた。 ・保幼小中で統一した「個別の教育支援計画」の様式を基に連携を行った。また、合同研修を実施することを通して、連携の充実を図ることができた。 ・教育相談や教育相談後における継続的な就学指導により就学指導の充実を図ることができた。
(2) 現在の課題と課題解決の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・特別な支援を必要とする児童生徒が年々増加傾向にある。 ・関係機関等との連携を基に、特別支援教育の充実や効果的な保幼小連携に向けた具体的な取組を継続的に進めていく。
(3) 今後の方向性(見直しによる効果で数値化できるものがあれば併せて記載してください。)	<ul style="list-style-type: none"> ・特別な支援を必要とする児童生徒の実態に応じて、特別支援教育支援員の増員を検討する必要がある。 ・保幼小中合同研修の内容や「個別の教育支援計画」の活用の工夫を通じて、保幼小中連携の更なる充実を図る。
振り返り項目	<p>昨年度の今後の方向性(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全教職員の一層の指導力向上を図り、学校全体で特別支援教育を推進するための効果的な研修を実施する。 ・個々の実態に応じた支援が継続的に進められるよう、保幼小連携において様式を統一した「個別の教育支援計画」の効果的な活用や研修会の充実を図る。 <p>昨年度の方向性に対する取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巡回相談等を積極的に利用し、教職員の指導力向上を目指して、学校全体で特別支援教育を推進するための研修を実施した。 ・保幼小中で様式を統一した「個別の教育支援計画」を活用した連携や保幼小中合同の研修会を実施した。

令和元年度点検・評価シート

評価対象年度	平成30年度
--------	--------

整理番号	6	部課G名	教育部学校安全課生徒指導G
点検項目	生徒指導の充実	1次評価者	学校安全課長 棚田 隆志
		作成年月日	令和元年5月10日

1 点検項目の位置付け・根拠

予算科目	会計	01	一般会計		総合計画等	<input type="checkbox"/> 総合計画 重点プロジェクト		
	款	19	教育費			<input type="checkbox"/> 地方創生関連		
	項	01	教育総務費			<input type="checkbox"/> 合併建設計画		
	目	10	教育指導費			<input type="checkbox"/> 過疎地域自立促進計画		
	事業	10	教育指導費	12		適応指導費	<input type="checkbox"/> 呉市アウトソーシング推進計画	
	細事業	30	生徒指導推進事業	10		児童生徒適応指導事業	<input type="checkbox"/> 呉市公共施設再配置計画	1次
事業類型	<input type="checkbox"/> 法定受託事務				事業開始年度	昭和37年度		
	<input type="checkbox"/> 国の法令・県条例により義務付けられているもの				実施根拠(法令、条例、個別計画等)	生徒指導員派遣要綱、生徒指導アドバイザー運営要綱 呉市自立支援サポート委員会設置要綱 呉市いじめ問題調査委員会条例、学校法律相談実施要綱 呉市スクールサポーター活用事業運用要綱		
	<input checked="" type="checkbox"/> 市任意事務							

2 点検項目の概要

(1) 対象	呉市立小中高等学校の児童生徒																																											
(2) 事業概要 (事業内容)	誰・何を対象に	1 問題行動が起りにくい落ち着いた環境づくり (1) 「呉市のスタンダード(「掲示」「ロッカー」「机・椅子)」の取組の推進と徹底 2 いじめの未然防止, 早期発見・早期対応のための生徒指導体制づくり (1) いじめアンケートや個人面談等を通じた情報把握及び情報共有を基にした学校体制による早期対応の徹底 (2) 「いじめ撲滅キャンペーン」(年間2回)や「いじめ撲滅標語コンクール」の実施 3 問題行動の未然防止に向けた取組																																										
	手段・方法・年次計画など	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">項目</th> <th style="width: 12.5%;">平成28年度</th> <th style="width: 12.5%;">平成29年度</th> <th style="width: 12.5%;">平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>呉市スクールカウンセラー派遣回数(回)</td> <td style="text-align: center;">76</td> <td style="text-align: center;">86</td> <td style="text-align: center;">71</td> </tr> <tr> <td>メンタルフレンド派遣回数(回)</td> <td style="text-align: center;">90</td> <td style="text-align: center;">50</td> <td style="text-align: center;">28</td> </tr> <tr> <td>スクールサポーター派遣回数(回)</td> <td style="text-align: center;">235</td> <td style="text-align: center;">214</td> <td style="text-align: center;">235</td> </tr> <tr> <td>スクールソーシャルワーカー派遣回数(回)</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">346</td> <td style="text-align: center;">324</td> </tr> </tbody> </table> <生徒指導上の諸問題の状況> (小中合計) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">項目</th> <th style="width: 12.5%;">平成28年度</th> <th style="width: 12.5%;">平成29年度</th> <th style="width: 12.5%;">平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>暴力行為発生件数(件)</td> <td style="text-align: center;">69</td> <td style="text-align: center;">53</td> <td style="text-align: center;">54</td> </tr> <tr> <td>いじめ認知件数(件)</td> <td style="text-align: center;">184</td> <td style="text-align: center;">270</td> <td style="text-align: center;">281</td> </tr> <tr> <td>不登校児童生徒数(人)</td> <td style="text-align: center;">144</td> <td style="text-align: center;">153</td> <td style="text-align: center;">133</td> </tr> </tbody> </table>							項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	呉市スクールカウンセラー派遣回数(回)	76	86	71	メンタルフレンド派遣回数(回)	90	50	28	スクールサポーター派遣回数(回)	235	214	235	スクールソーシャルワーカー派遣回数(回)	—	346	324	項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	暴力行為発生件数(件)	69	53	54	いじめ認知件数(件)	184	270	281	不登校児童生徒数(人)	144	153	133
項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度																																									
呉市スクールカウンセラー派遣回数(回)	76	86	71																																									
メンタルフレンド派遣回数(回)	90	50	28																																									
スクールサポーター派遣回数(回)	235	214	235																																									
スクールソーシャルワーカー派遣回数(回)	—	346	324																																									
項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度																																									
暴力行為発生件数(件)	69	53	54																																									
いじめ認知件数(件)	184	270	281																																									
不登校児童生徒数(人)	144	153	133																																									
(3) 実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 補助事業 <input type="checkbox"/> その他																																											
(4) 意図・目的	対象をどのような状態にしたいのか	一人一人の児童生徒の個性の伸長を図るとともに、自己指導能力及び社会的な資質や能力、態度を育成する。																																										
(5) 成果指標	指標名と説明	①暴力行為発生件数 ②いじめ認知件数 ③不登校児童生徒数																																										

3 投入資源・活動実績

区分		単位	H28(決算)	H29(決算)	H30(決算)	R1(予算)	R2(試算)		
投入資源	事業費	財源内訳							
		国庫支出金 ①	千円	0	700	15,847	11,700	11,700	
		県支出金 ②	千円	0	330	653	330	330	
		地方債 ③	千円						
		その他 ④	千円	142	87	72	80	80	
	一般財源 ⑤	千円	57,862	43,078	37,509	35,092	35,092		
	【A】(①+②+③+④+⑤)		千円	58,004	44,195	54,081	47,202	47,202	
	人件費	人役	正規職員(8,022千円/年) ①	人役	3.80	3.80	3.80	3.80	3.80
			再任用職員(3,447千円/年) ②	人役					
			嘱託職員(2,168千円/年) ③	人役					
上記以外 ④			千円						
【B】(①×8,022千円+②×3,447千円+③×2,168千円)		千円	30,484	30,484	30,484	30,484	30,484		
フルコスト【A】+【B】		千円	88,488	74,679	84,565	77,686	77,686		
活動実績	対象指標	① 小中学校児童生徒数	人	16,019	15,698	15,526	15,323	—	
		②							
	活動指標	① 呉市スクールカウンセラーの派遣回数	回	76	86	71	75	—	
		② メンタルフレンド年間派遣回数	回	90	50	28	22	—	
		③ スクールサポーター派遣校における暴力行為減少率(前年比)	%	22	86	50	—	—	
		④ スクールソーシャルワーカー派遣校における課題解決・好転率	%	—	77	74	—	—	
	成果指標	① 暴力行為発生件数	件	69	53	54	—	—	
		② いじめ認知件数	件	184	270	281	—	—	
		③ 不登校児童生徒数	人	144	153	133	—	—	
	特記事項								

4 学識経験者の意見

- ・小中一貫教育の成果として、不登校の人数が減少してきている部分もある。また、保幼小の接続の充実が未然防止にもつながるので、引き続き連携し、取り組んでいただきたい。
- ・教員がいち早くいじめのサインをキャッチできるよう、子どもたちとの信頼関係を構築して欲しい。
- ・いじめは初期対応が大切なので、しっかり対応してほしい。

5 担当課の評価

(1) 自己評価・点検	評価結果	・呉市全体で「呉市のスタンダード」の取組を通して、児童生徒が集中できる学習環境づくりを推進した。 ・いじめ撲滅キャンペーンやいじめ撲滅プロジェクトチーム等の取組を通して、学校体制でいじめを積極的に認知し、いじめの早期発見、早期対応を図った。 ・学校の早期対応に加え、スクールカウンセラー派遣やスクールサポーター等関係機関の専門的立場からの助言等により、不登校児童生徒が減少した。
(2) 現在の課題と課題解決の取組	・いじめ等の問題行動に係る初期対応に確実に取り組むことができる生徒指導体制を確立する必要がある。 ・不登校状態が長期化している児童生徒に対し、学校復帰の取組を実施する必要がある。	
(3) 今後の方向性(見直しによる効果で数値化できるものがあれば併せて記載してください。)	・いじめ等の問題行動の未然防止及び初期対応に関わる教職員研修を実施し、各校の生徒指導体制を確立する。 ・不登校の未然防止を図るとともに、不登校が長期化する児童生徒への手立てを積極的に講じる。	
振返り項目	昨年度の今後の方向性(概要)	昨年度の方向性に対する取組状況
	・いじめを積極的に認知し早期対応を図るとともに、いじめ等の問題行動について「いじめ防止基本方針」や「生徒指導規程」に基づいた丁寧かつ確実な対応を行う。 ・スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー等の効果的な派遣を継続し、暴力行為や不登校等生徒指導上の諸課題の未然防止や早期対応に努める。	・いじめの積極的認知に向けたアンケートや個人面談等の取組を推進するとともに、生徒指導規程やいじめ防止基本方針に基づいた取組を推進した。 ・関係機関と連携し、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー等を学校の実情に応じて派遣した。

令和元年度点検・評価シート

評価対象年度	平成30年度
--------	--------

整理番号	7	部課G名	教育部学校安全課保健体育G
点検項目	安全対策の推進	1次評価者	学校安全課長 棚田 隆志
		作成年月日	令和元年5月10日

1 点検項目の位置付け・根拠

予算科目	会計	01 一般会計	総合計画等	<input type="checkbox"/> 総合計画 重点プロジェクト		
	款	19 教育費		<input type="checkbox"/> 地方創生関連		
	項	01 教育総務費		<input type="checkbox"/> 合併建設計画		
	目	10 教育指導費		<input type="checkbox"/> 過疎地域自立促進計画		
	事業	10 教育指導費		<input type="checkbox"/> 呉市アウトソーシング推進計画		
	細事業	08 学校安全推進事業		<input type="checkbox"/> 呉市公共施設再配置計画 1次 2次 3次		
事業類型	<input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業開始年度			
	<input type="checkbox"/> 国の法令・県条例により義務付けられているもの		実施根拠(法令, 条例, 個別計画等)	・呉の子どもを守る会議設定要綱 ・呉市小中学校の管理及び学校教育法の実施に関する規則		
	<input checked="" type="checkbox"/> 市任意事務					

2 点検項目の概要

(1) 対象	誰・何を対象に 呉市立小中学校の児童生徒																												
(2) 事業概要 (事業内容)	1 登下校の安全対策																												
	手段・方法・年次計画など	<p>(1) 「呉子ども交通安全推進隊」による活動の実施（全小学校で年7回以上）</p> <p>(2) 「交通安全教室」（全小中学校）及び小学校入学前の交通安全指導の実施（全小学校）</p> <p>(3) 通学路の危険箇所の改善要望に対する対応</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>要望箇所(件)</td> <td>18</td> <td>11</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>合同点検回数(回)【実施率】</td> <td>18【100%】</td> <td>11【100%】</td> <td>9【100%】</td> </tr> <tr> <td>改善件数(件)</td> <td>13</td> <td>7</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>〈交通事故発生件数〉 【 】は登下校中の発生件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>合計(件)</td> <td>12【9】</td> <td>15【7】</td> <td>9【4】</td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 平成30年7月豪雨災害後の通学路の安全点検</p> <p>(5) 防犯プランに基づく防犯の視点での通学路の合同点検</p>						平成28年度	平成29年度	平成30年度	要望箇所(件)	18	11	9	合同点検回数(回)【実施率】	18【100%】	11【100%】	9【100%】	改善件数(件)	13	7	2		平成28年度	平成29年度	平成30年度	合計(件)	12【9】	15【7】
	平成28年度	平成29年度	平成30年度																										
要望箇所(件)	18	11	9																										
合同点検回数(回)【実施率】	18【100%】	11【100%】	9【100%】																										
改善件数(件)	13	7	2																										
	平成28年度	平成29年度	平成30年度																										
合計(件)	12【9】	15【7】	9【4】																										
	2 防災対策																												
	<p>(1) 平成30年7月豪雨災害の対応を踏まえた災害対応マニュアルの見直し（研修）</p> <p>(2) 「呉市防災教育のための手引き」に基づいた防災教育の実施と実践交流</p> <p>(3) 「防災マニュアル」に基づいた避難訓練の実施</p> <p>〈防災・防犯訓練実施状況〉</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>合計(回)【実施校数】</td> <td>191【全62校】</td> <td>185【全62校】</td> <td>196【全62校】</td> </tr> </tbody> </table>						平成28年度	平成29年度	平成30年度	合計(回)【実施校数】	191【全62校】	185【全62校】	196【全62校】																
	平成28年度	平成29年度	平成30年度																										
合計(回)【実施校数】	191【全62校】	185【全62校】	196【全62校】																										
	3 安全対策に係る情報発信																												
	〈学校メール配信システムの運用状況〉																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>登録件数(件)</td> <td>28,048</td> <td>20,546</td> <td>20,314</td> </tr> <tr> <td>保護者登録件数(件)</td> <td>17,637</td> <td>13,154</td> <td>12,458</td> </tr> <tr> <td>地域・教職員等登録件数(件)</td> <td>10,411</td> <td>7,392</td> <td>7,856</td> </tr> <tr> <td>発信回数(回)</td> <td>2,867</td> <td>1,957</td> <td>2,782</td> </tr> </tbody> </table>						平成28年度	平成29年度	平成30年度	登録件数(件)	28,048	20,546	20,314	保護者登録件数(件)	17,637	13,154	12,458	地域・教職員等登録件数(件)	10,411	7,392	7,856	発信回数(回)	2,867	1,957	2,782				
	平成28年度	平成29年度	平成30年度																										
登録件数(件)	28,048	20,546	20,314																										
保護者登録件数(件)	17,637	13,154	12,458																										
地域・教職員等登録件数(件)	10,411	7,392	7,856																										
発信回数(回)	2,867	1,957	2,782																										
(3) 実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 補助事業 <input type="checkbox"/> その他																												
(4) 意図・目的	・児童生徒が「自らの命は自らが守る」ための知識や実践力の育成を図る。 ・「不審者情報」や「防災・災害情報」等の配信により、児童生徒の安全を確保する。		(5) 成果指標	①交通事故発生件数 ②通学路の危険箇所の改善要望に対する改善件数 ③学校メール配信システムの発信件数																									
	対象をどのような状態にしたいのか		指標名と説明																										

3 投入資源・活動実績

		区分	単位	H28(決算)	H29(決算)	H30(決算)	R1(予算)	R2(試算)	
投入資源	事業費	財源内訳							
		国庫支出金 ①	千円						
		県支出金 ②	千円						
		地方債 ③	千円						
		その他 ④	千円						
	一般財源 ⑤	千円	2,587	3,152	2,791	3,315	3,315		
	【A】(①+②+③+④+⑤)	千円	2,587	3,152	2,791	3,315	3,315		
	人件費	人役	正規職員(8,022千円/年) ①	人役	1.30	1.30	1.30	1.30	1.30
			再任用職員(3,447千円/年) ②	人役					
			嘱託職員(2,168千円/年) ③	人役					
上記以外 ④			千円						
【B】(①×⑧,022千円+②×③,447千円+③×②,168千円)			千円	10,429	10,429	10,429	10,429	10,429	
		フルコスト【A】+【B】	千円	13,016	13,581	13,220	13,744	13,744	
活動実績	対象指標	① 小中学校児童生徒数	人	16,019	15,698	15,526	15,323	—	
		② 通学路の危険箇所数	箇所	240	261	259	—	—	
	活動指標	① 安全指導実施回数	回	1,042	2,383	1,497	—	—	
		② 通学路の危険箇所の改善要望件数	件	18	11	9	—	—	
		③ 学校メール配信システムの登録件数	件	28,048	20,546	20,395	—	—	
	成果指標	① 交通事故発生件数	件	14	18	9	—	—	
		② 通学路の危険箇所の改善要望に対する改善件数	件	8	3	2	—	—	
		③ 学校メール配信システムの発信件数	件	2,867	1,957	2,782	—	—	
	特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・活動指標の①「安全指導実施回数」は、「交通安全教室」「防災訓練」「非行防止教室」の実施回数の合計 ・活動指標の①安全指導実施回数の「非行防止教室」の調査方法を平成29年度に変更(延べ回数) 							

4 学識経験者の意見

- ・写真入りの安全マップがとても分かりやすくして良いと思う。
- ・平成30年7月豪雨災害を機に、各地域でも防災に関する活動が充実してきたので、教育委員会でも引き続きお願いしたい。
- ・メール配信システムについて、発信側の研修を行う等、発信側のフォロー体制を確立させておくことも必要である。

5 担当課の評価

(1) 自己評価・点検	<p>評価結果</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em;">A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「呉市通学路交通安全プログラム」に基づき、通学路の改善対策を組織的・計画的に推進した。 ・防災教育の充実に向けて「呉市防災教育のための手引き」に基づいた各校による防災教育の推進や実践交流を実施した。 ・平成30年7月豪雨災害後に、通学路の点検や「災害対応マニュアル」の見直しに向けた研修等を実施した。
(2) 現在の課題と課題解決の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年7月豪雨災害を受けて、特に出水期前までに防災教育の充実を行う必要がある。 ・通学路の改善対策とともに、交通事故の未然防止及び防犯対策に取り組む必要がある。 ・「学校メール配信システム」を改善するとともに、より多くの保護者に周知を図る必要がある。 	
(3) 今後の方向性(見直しによる効果で数値化できるものがあれば併せて記載してください。)	<ul style="list-style-type: none"> ・出水期までの取組を確実に実施するとともに、「呉市防災教育のための手引き」に基づいた防災教育の充実を図る。 ・「呉市通学路交通安全プログラム」に基づく改善対策の継続実施とともに、安全マップに基づいた交通安全指導や防犯指導の徹底を図る。 ・「学校メール配信システム」の改善を進めるとともに、機会を捉え、保護者等への周知を図る。 	
振返り項目	<p>昨年度の今後の方向性(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「呉市通学路交通安全プログラム」に基づく改善対策を継続して推進するとともに、交通安全指導の徹底を図る。 ・各学校の実情に応じた「呉市防災教育のための手引き」の実践交流や「土砂災害対応携帯マニュアル」による防災訓練等を通して、防災教育の充実を図る。 ・迅速かつ確実に届く「学校メール配信システム」の改善を図るとともに、登録者数を増やし効率的な情報発信を通してより一層の活用を図る。 	<p>昨年度の方向性に対する取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年7月豪雨災害後に、通学路の点検を実施した。 ・「呉市通学路交通安全プログラム」に基づく改善対策を関係機関と連携して実施するとともに、防犯の視点でも通学路の点検を実施した。 ・「学校メール配信システム」の改善に向けて関係課等と調整した。

令和元年度点検・評価シート

評価対象年度	平成30年度
--------	--------

整理番号	8	部課G名	文化スポーツ部 文化振興課 社会教育G
点検項目	青少年健全育成事業の推進	1次評価者	課長 多田 博
		作成年月日	令和元年5月10日

1 点検項目の位置付け・根拠

予算科目	会計	01 一般会計	総合計画等	<input type="checkbox"/> 総合計画 重点プロジェクト		
	款	19 教育費		<input type="checkbox"/> 地方創生関連		
	項	20 社会教育費		<input type="checkbox"/> 合併建設計画		
	目	05 社会教育振興費		<input type="checkbox"/> 過疎地域自立促進計画		
	事業	22 青少年育成費		<input type="checkbox"/> 呉市アウトソーシング推進計画		
	細事業	10 青少年育成事業		<input type="checkbox"/> 呉市公共施設再配置計画 1次 2次 3次		
事業類型	<input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業開始年度	昭和30年度		
	<input type="checkbox"/> 国の法令・県条例により義務付けられているもの		実施根拠(法令, 条例, 個別計画等)	地方青少年問題協議会法 呉市青少年問題協議会設置条例 呉市青少年問題基本対策要綱		
	<input checked="" type="checkbox"/> 市任意事務					

2 点検項目の概要

(1) 対象 誰・何を対象に	市民, 青少年一般																								
(2) 事業概要 (事業内容) 手段・方法・年次計画など	1 成人式																								
	<p>(1) 平成21年度統一開催から地域開催へ移行</p> <p>(2) 各地区に地域成人式補助金を交付 (H30 補助金額 4,000千円 18地区に交付)</p> <p>(3) はたちのパスポート (H28から海自カレー販売店に協力依頼)</p> <p>(4) 各地域で特色ある記念行事や恩師を交えた同窓会などを開催</p> <p>(5) 成人式の参加率等の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>平成20年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開 催 方 法</td> <td>統一開催</td> <td>地域開催</td> <td>地域開催</td> </tr> <tr> <td>成 人 者 数</td> <td>2,453人</td> <td>2,251人</td> <td>2,224人</td> </tr> <tr> <td>参 加 者 数</td> <td>1,255人</td> <td>1,648人</td> <td>1,636人</td> </tr> <tr> <td>参 加 率</td> <td>51.2%</td> <td>73.2%</td> <td>73.6%</td> </tr> </tbody> </table>						年 度	平成20年度	平成29年度	平成30年度	開 催 方 法	統一開催	地域開催	地域開催	成 人 者 数	2,453人	2,251人	2,224人	参 加 者 数	1,255人	1,648人	1,636人	参 加 率	51.2%	73.2%
年 度	平成20年度	平成29年度	平成30年度																						
開 催 方 法	統一開催	地域開催	地域開催																						
成 人 者 数	2,453人	2,251人	2,224人																						
参 加 者 数	1,255人	1,648人	1,636人																						
参 加 率	51.2%	73.2%	73.6%																						
(3) 実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 補助事業 <input type="checkbox"/> その他																								
	(4) 意図・目的 対象をどのような状態にしたいのか	地域成人式や青少年の善行等の表彰などの各種事業を、地域を始めとする各関係団体や関係機関と協力・連携しながら実施することで、青少年の健全育成を推進する。			(5) 成果指標 指標名と説明	①成人式出席者数 ②成人式参加率 ③青少年善行表彰件数																			

3 投入資源・活動実績

区分		単位	H28(決算)	H29(決算)	H30(決算)	R1(予算)	R2(試算)		
投入資源	事業費	財源内訳							
		国庫支出金 ①	千円						
		県支出金 ②	千円						
		地方債 ③	千円						
		その他 ④	千円	2,000	3,000	3,500	0	0	
	一般財源 ⑤	千円	2,804	1,695	923	4,239	4,239		
	【A】(①+②+③+④+⑤)		千円	4,804	4,695	4,423	4,239	4,239	
	人件費	人役	正規職員(8,022千円/年) ①	人役	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
			再任用職員(3,447千円/年) ②	人役					
			嘱託職員(2,168千円/年) ③	人役					
上記以外 ④			千円						
【B】(①×⑧,022千円+②×③,447千円+③×②,168千円)		千円	2,407	2,407	2,407	2,407	2,407		
フルコスト【A】+【B】		千円	7,211	7,102	6,830	6,646	6,646		
活動実績	対象指標	① 呉市の11月末の住民基本台帳(外国人を含む。)の人数	人	231,604	228,597	225,444	225,000	225,000	
		②							
	活動指標	① 成人式	回	18	18	18	18	18	
	成果指標	① 成人式出席者数 (上段:対象者,下段:参加者)	人	2,311 1,786	2,251 1,648	2,224 1,636	2,300 1,725	2,300 1,725	
		② 成人式参加率	%	77.3	73.2	73.6	75.0	75.0	
		③ 青少年善行等の表彰件数	件	8	8	8	8	8	
特記事項	・正規職員の人役には、地域開催成人式に関わる地域協働課、各市民センター職員の人役は含めず。								

4 学識経験者の意見

<ul style="list-style-type: none"> ・成人式について、いわゆる18歳成人への対応は早めに方向性を決め、周知をお願いしたい。 ・青少年の善行等の表彰について、あまり知られていないと感じるので、もっと広報の工夫が必要ではないかと思う。 ・青少年の善行等についての意図や趣旨はとても良い。表彰を受ける側の子どもから情報収集したり、子どもにネーミングを考えさせるなど検討してみてはどうか。
--

5 担当課の評価

(1) 自己評価・点検	評価結果	<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成21年度より地域分散開催としている成人式については、各地域(倉橋・仁方・中央)で実行委員会が立ち上がるなど、着実に地域に根付いてきている。 ・青少年の善行等の表彰についても、表彰式を本庁1階において一般公開するなど、制度の周知を図っている。
(2) 現在の課題と課題解決の取組	<p>1 成人式 成年年齢の引下げによる令和4年度以降の成人式の時期や在り方等について検討する必要があり、国及び他都市の動向についての調査や有識者への意見聴取を行う。</p> <p>2 青少年の善行等の表彰 善行表彰制度の更なる周知や、推薦件数を増加していくことが課題であり、引き続き効果的な広報を行っていくことや、表彰式の内容についても更なる検討を図っていく。</p>	
(3) 今後の方向性(見直しによる効果で数値化できるものがあれば併せて記載してください。)	<p>1 成人式 今後も地域主導での運営を継続していく上で、各地域の意見も取り入れ、対象年齢及び開催時期等について方向性を検討し、魅力のある成人式の開催に努める。</p> <p>2 青少年の善行等の表彰 推薦件数の増加とともに、全国表彰への推薦を積極的に行うなど、市民の励みになるよう更なる広報を行う。</p>	

振返り項目	<p>昨年度の今後の方向性(概要)</p> <p>1 成人式 地域と新成人の絆が深まる、特色を生かした魅力ある成人式の開催に努める。</p> <p>2 青少年の善行等の表彰 推薦件数の増加とともに、市民の励みになるような積極的な広報を行う。</p>	<p>昨年度の方向性に対する取組状況</p> <p>1 成人式 引き続き地域主導で運営することにより、特色ある成人式にできるよう働き掛けを行うとともに、社会教育委員会にて年齢引下げの議題について情報共有と意見交換を行った。</p> <p>2 青少年の善行等の表彰 広く市民にPRできるよう、表彰式は本庁1階で一般に公開して行うこととした。</p>
-------	--	---

令和元年度点検・評価シート

評価対象年度	平成30年度
--------	--------

整理番号	9	部課G名	文化スポーツ部 文化振興課 文化G
点検項目	文化財の活用と管理	1次評価者	課長 多田 博
		作成年月日	令和元年5月10日

1 点検項目の位置付け・根拠

予 算 科 目	会計	01	一般会計	総合計画等	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 重点プロジェクト <input type="checkbox"/> 地方創生関連			
	款	19	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 合併建設計画 <input checked="" type="checkbox"/> 過疎地域自立促進計画			
	項	20	社会教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 呉市アウトソーシング推進計画 <input checked="" type="checkbox"/> 呉市公共施設再配置計画	1次	2次	3次
	目	05	社会教育振興費					
	事業	20	文化財保護費					
	細事業		文化財保護事業他3事業					
事業 類型	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国の法令・県条例により義務付けられているもの <input type="checkbox"/> 市任意事務			事業開始年度	昭和30年度			
				実施根拠(法令、条例、個別計画等)	・文化財保護法・広島県文化財保護条例・呉市文化財保護条例・呉市文化財保護条例施行規則・呉市伝統的建造物群保存地区保存条例・呉市御手洗地区文化施設条例・呉市御手洗地区文化施設条例施行規則			

2 点検項目の概要

(1) 対象	市民、文化財所有者、開発事業者（埋蔵文化財関係）、呉市豊町御手洗伝統的建造物群保存地区内建造物等、御手洗伝統的建造物群保存地区を訪れる人々及び地区住民						
誰・何を対象に							
(2) 事業概要 (事業内容)	1 文化財の保存						
	手段・方法・年次計画など	(1) 旧金子家住宅(呉市有形文化財) 保存修理事業					
	事業名	事業費	事業内容				
	旧金子家住宅 保存修理	32,452千円	建築工事(台所棟)、外構(外周塀)整備 電気・給排水設備、修理報告書作成				
	※平成31年2月末で保存修理が完了し、平成31年4月から建物を一般に公開						
	(2) 豊町御手洗伝統的建造物群保存地区修理・修景事業						
	項 目	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
	修理・修景件数	2件	2件	2件			
	※保存地区内にある建物の修理・修景事業に対して助成を行い、歴史的な町並みを保存（修理・修景物件：123件（平成30年度末））						
	2 文化財の活用						
	旧澤原家住宅（国重要文化財）公開事業						
	項 目	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
	公開実施回数	8回	7回	7回			
	公開参加人数	157人	180人	150人			
	3 文化遺産等の情報発信・普及啓発						
	(1) 日本遺産魅力発信事業(平成30年5月「北前船寄港地」として日本遺産認定)						
	・日本遺産（北前船）認定記念事業 （横断幕等による市民等への普及啓発及び認定記念セレモニーの開催）						
	・日本遺産認定の周知・PR（歴史講演会及び豊小学校での地域学習の開催）						
	(2) くれ文化遺産コンシェルジュ養成講座						
	項 目	平成29年度	平成30年度				
	実施回数	5回	10回				
	参加人数	466人	665人				
	※内容は、呉の歴史や日本遺産(鎮守府・北前船)、重伝建等に関すること。						
(3) 実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 補助事業 <input type="checkbox"/> その他						
(4) 意図・目的	呉市の「お宝」である文化財を保存活用することで、「魅力あるまちづくり」に貢献し、ふるさと「呉」に対する郷土愛を育む。			(5) 成果指標			
				対象をどのような状態にしたいのか	指標名と説明	①旧澤原家住宅公開事業の参加者数 ②くれ文化遺産コンシェルジュ養成講座参加者延べ人数	

3 投入資源・活動実績

区分		単位	H28(決算)	H29(決算)	H30(決算)	R1(予算)	R2(試算)		
投入資源	事業費	財源内訳							
		国庫支出金 ①	千円	39,962	36,067	30,046	15,648	26,000	
		県支出金 ②	千円	1,128	1,128	1,198	2,100	12,500	
		地方債 ③	千円			8,600			
		その他 ④	千円	891	877	716	1,335	1,000	
	一般財源 ⑤	千円	40,160	39,603	26,059	25,807	39,315		
	【A】(①+②+③+④+⑤)	千円	82,141	77,675	66,619	44,890	78,815		
	人件費	人役	正規職員(8,022千円/年) ①	人役	3.40	3.40	4.00	4.00	4.00
			再任用職員(3,447千円/年) ②	人役					
			嘱託職員(2,168千円/年) ③	人役					
上記以外 ④			千円						
【B】(①×⑧,022千円+②×③,447千円+③×②,168千円)			千円	27,275	27,275	32,088	32,088	32,088	
フルコスト【A】+【B】		千円	109,416	104,950	98,707	76,978	110,903		
活動実績	対象指標	① 呉市の4月末の住民基本台帳(外国人を含む。)の人数	人	232,393	229,735	226,725	223,751	223,751	
		②							
	活動指標	① 文化財訪ね歩き講座実施回数	回	8	7	7	7	7	
		② くれ文化遺産コンシェルジュ養成講座実施回数	回	—	5	10	15	—	
	成果指標	① 文化財訪ね歩き講座参加者数	人	157	180	150	200	200	
		② くれ文化遺産コンシェルジュ養成講座参加延べ人数	人	—	466	665	1,000	—	
特記事項									

4 学識経験者の意見

・文化財については、他県の人がよく知っていると感じる。宣伝をもっとした方が良いと思う。
 ・もっと子どもたちを巻き込んだ広報の仕方などを検討してみてもどうか。
 ・小学校の総合的な学習の時間で、パンフレットを作成したりしているので、これらと関連付けたパンフレットを子どもたちに作成させると、学習意欲にもつながる。

5 担当課の評価

(1) 自己評価・点検	<p>評価結果</p> <p style="font-size: 2em; text-align: center;">A</p>	<p>・文化財は長い歴史の中で生まれ、伝えられてきた貴重な財産であるため、適正に保存し、次世代に引き継ぐために、管理と活用を図る事業を着実に実施することができた。</p> <p>事業内容 ①文化財の保存・・・文化財の保存修理(助成)、埋蔵文化財の確認 ②文化財の活用・・・文化財訪ね歩き講座(公開) ③文化遺産等の情報発信等・・・日本遺産魅力発信事業、くれ文化遺産コンシェルジュ養成講座の実施</p>
(2) 現在の課題と課題解決の取組	<p>1 文化財の保存 御手洗伝建地区内の修理・修景事業については、修理等希望建物が多く残っており、町並みの適正な維持管理のため、年間の修理件数を増やすなど迅速かつ計画的な実施を検討する。</p> <p>2 文化財の活用 文化財訪ね歩き講座については、見学内容がマンネリ化しつつあり、参加者が減少傾向であるため、市民が興味・関心を抱くような内容の充実を図り、開催時期も含めて検討する。</p> <p>3 文化遺産等の情報発信等 二つの日本遺産(鎮守府・北前船)とユネスコ「世界の記憶」など有しているが、市民や観光客の認知度がまだ低い状況であり、SNSなどを生かした情報発信を検討するとともに、関係部局や関係団体と連携・協力して実施する。</p>	
(3) 今後の方向性(見直しによる効果で数値化できるものがあれば併せて記載してください。)		<p>・文化財等の適正な保存を図るため、計画的な整備(修理・修景事業を含む)を行い、魅力ある施設、歴史的な町並みの整備を実施する。</p> <p>・日本遺産認定などを契機として、市内の歴史文化資源の価値や魅力について、観光資源として積極的に情報発信・活用するための取組を関係部局及び地元団体等と連携・協力して実施する。</p>
振返り項目	<p>昨年度の今後の方向性(概要)</p> <p>・文化財に興味・関心のある市民に対して講座を実施し、専門的知識を有する市民等を養成するとともに、その専門知識を生かして、歴史・文化の情報発信を行い、文化財の活用・継承意識の向上を図る。</p> <p>・日本遺産の認定やユネスコ「世界の記憶」登録などの機会を捉え、市内の歴史文化資源の価値や魅力について、市民が再認識する啓発活動に取り組み、観光資源として積極的に情報発信・活用するため観光部局との連携協力を検討する。</p>	<p>昨年度の方向性に対する取組状況</p> <p>・くれ文化遺産コンシェルジュ養成講座を実施し、歴史講座の講師又は地域のガイドなど文化財の活用・継承が図れる人材の育成を目的とし、3年間で約30回の講座を予定しており、初年度(平成29年度)の5回に続き、平成30年度も10回の講座を開催した。</p> <p>・日本遺産(北前船)追加認定発表後、市内各所に横断幕・懸垂幕・看板などを設置し啓発活動に取り組んだ。</p>

令和元年度点検・評価シート

評価対象年度	平成30年度
--------	--------

整理番号	10	部課G名	文化スポーツ部 中央図書館 図書G
点検項目	図書館サービスの向上	1次評価者	中央図書館長 沖本正樹
		作成年月日	令和元年5月9日

1 点検項目の位置付け・根拠

予算科目	会計	01 一般会計	総合計画等	<input type="checkbox"/> 総合計画 重点プロジェクト		
	款	19 教育費		<input type="checkbox"/> 地方創生関連		
	項	20 社会教育費		<input type="checkbox"/> 合併建設計画		
	目	15 図書館費		<input type="checkbox"/> 過疎地域自立促進計画		
	事業	10 図書館活動費		<input type="checkbox"/> 呉市アウトソーシング推進計画		
	細事業	10 読書推進活動事業		<input type="checkbox"/> 呉市公共施設再配置計画 1次 2次 3次		
事業類型	<input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業開始年度	大正14年度～		
	<input type="checkbox"/> 国の法令・県条例により義務付けられているもの		実施根拠(法令, 条例, 個別計画等)	図書館法, 子どもの読書活動の推進に関する法律, 呉市子どもの読書活動推進計画		
	<input checked="" type="checkbox"/> 市任意事務					

2 点検項目の概要

(1) 対象 誰・何を対象に	乳幼児, 児童, 大人, 障害者					
(2) 事業概要 (事業内容) 手段・方法・年次計画など	<p>1 絵本会の開催(読み聞かせボランティアグループと共催) 読み聞かせボランティアグループと共催で, 各館とも毎月定期的に絵本会を開催している。また, 図書館から遠い地域の子どもの対象に, まちづくりセンター, 児童会等の要望に応じて「でまええほんかい」を開催している。</p> <p>2 絵本カーニバルの開催(くれ絵本カーニバル実行委員会主催) 市内の読み聞かせボランティアグループ等が一同に集まって企画立案し, 毎年オークアリーナで秋期の2日間「ふしぎいっぱいのかくれ絵本カーニバル」を開催している。</p> <p>3 「子ども司書」養成講座の実施(広島県教育委員会・呉市教育委員会と共催) 児童の中に読書活動を推進するリーダーを育成することを目的として, 各館で「子ども司書」養成講座の実地研修を行っている。</p> <p>4 ブックリストの作成及び読書感想文の募集 親子読書活動推進のため, 呉市立図書館独自のブックリスト「この本 だ〜いすき!」を作成し, リスト掲載図書を対象に読書感想文を募集して, 優秀作品を表彰している。</p> <p>5 イベント事業の開催 各館で参加型のイベントを開催している。「オリジナル百鬼夜行を作ろう!」(広)や「おとなのためのちいさな朗読会」(昭和)など, 大人が参加できるイベントもある。 また, いつもは図書館を利用しない市民の来館を促すこと目的として, 11月3日に「にぎやか図書館大好きフェスタ」を中央図書館で開催した。その時の「小さな音楽会」・「大人の書庫散歩」・「しなやかに身体リフレッシュ」などの催しに多くの市民が参加した。</p> <p>6 読書通帳の配布 読書意欲向上に資するべく, 平成28年度から読書通帳の配布を始めた。平成30年度は「この世界の片隅に」にちなんだ「すずさん読書通帳」を作成し, 好評である。</p> <p>7 障害者サービス 朗読研究会「つばき」と共催して, 希望する視覚障害者に市政だよりやくれえほん等の音訳テープを作成し, 毎月無料で発送している。また, L. L.ブックコーナー(成人した障害者等を対象に絵やマークを多用してやさしく読める本)を新設し, 読書が困難な利用者を支援している。</p> <p>8 広報 利用者と本を結び付けるために, フェイスブックや図書館だよりで情報発信をしている。</p>					
(3) 実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施	<input type="checkbox"/> 一部委託	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> 指定管理者	<input type="checkbox"/> 補助事業	<input type="checkbox"/> その他
(4) 意図・目的 対象をどのような状態にしたいのか	1 子どもの読書習慣育成 2 大人向けの読書推進 3 障害者への読書支援		(5) 成果指標 指標名と説明	①絵本会の参加人数 ②イベントの参加人数		

3 投入資源・活動実績

区分		単位	H28(決算)	H29(決算)	H30(決算)	R1(予算)	R2(試算)
投入資源	事業費 財源内訳	国庫支出金 ①	千円				
		県支出金 ②	千円				
		地方債 ③	千円				
		その他 ④	千円	216	270	305	336
		一般財源 ⑤	千円	46,691	46,525	42,365	42,697
	【A】(①+②+③+④+⑤)		千円	46,907	46,795	42,670	43,033
	人件費 人役	正規職員(8,022千円/年) ①	人役	6.00	6.00	4.00	3.00
		再任用職員(3,447千円/年) ②	人役			2.00	1.00
		嘱託職員(2,168千円/年) ③	人役	9.00	9.00	9.00	9.00
		上記以外 ④	千円				
【B】(①×@8,022千円+②×@3,447千円+③×@2,168千円)		千円	67,644	67,644	58,494	47,025	
フルコスト【A】+【B】		千円	114,551	114,439	101,164	90,058	
活動実績	対象指標	① 呉市の人口	人	229,868	226,725	223,685	223,685
		② うち乳幼児・児童数	人	22,032	21,527	20,945	20,945
	活動指標	① 絵本会の開催実績	回	176	185	190	190
		② イベントの開催実績	回	10	10	14	14
	成果指標	① 絵本会の参加人数(延人数)	人	4,518	5,360	5,984	6,000
		② イベントの参加人数	人	1,937	2,425	3,398	3,400
特記事項	・平成24年度 中央図書館 文部科学大臣表彰受賞(子どもの読書活動優秀実践図書館として) ・平成30年度 中央図書館の朗読ボランティア団体「朗読研究会『つばき』」「障害者の生涯学習支援活動」に係る文部科学大臣表彰						

4 学識経験者の意見

<ul style="list-style-type: none"> ・読書感想文の募集だけに限らず、絵や写真などを使ったポップ的なものを募集しても効果があると思う。 ・多様なイベントを引き続き実施していただきたい。
--

5 担当課の評価

(1) 自己評価・点検	評価結果 <div style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div> <ul style="list-style-type: none"> ・「絵本会」や「くれ絵本カーニバル」を始めとする各種イベント等、様々な読書推進活動が市民に定着してきた。 ・新たなイベントを、各館で工夫して開催した。
(2) 現在の課題と課題解決の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館の認知度を向上させ、利用者の増加につなげる。 ・小中学校やボランティア団体との連携を強化して、読書推進を図る。
(3) 今後の方向性(見直しによる効果で数値化できるものがあれば併せて記載してください。)	<ul style="list-style-type: none"> ・各館で魅力のあるイベント等の企画・実施をして、新たな利用者層の開拓に取り組む。 ・フェイスブックや図書館だよりで情報発信を行う。
振り返り項目	昨年度の今後の方向性(概要) <ul style="list-style-type: none"> ・関係団体と連携しながら、新たな利用者層の開拓に取り組む。 ・読書通帳を活用して読書推進を図る。 ・利用者ニーズに沿った蔵書構成や資料整備に取り組む。 昨年度の方向性に対する取組状況 <ul style="list-style-type: none"> ・11月3日に、イベント「にぎやか図書館大好きフェスタ」を開催し、多くの市民が図書館を訪れた。 ・市民に親しまれるよう「すずさん読書通帳」を作成した。

令和元年度点検・評価シート

評価対象年度	平成30年度
--------	--------

整理番号	11	部課G名	文化スポーツ部 中央図書館 管理G・図書G
点検項目	図書館の適正な管理運営	1次評価者	中央図書館長 沖本正樹
		作成年月日	令和元年5月9日

1 点検項目の位置付け・根拠

予算科目	会計	01	一般会計	総合計画等	<input type="checkbox"/> 総合計画 重点プロジェクト
	款	19	教育費		<input type="checkbox"/> 地方創生関連
	項	20	社会教育費		<input type="checkbox"/> 合併建設計画
	目	15	図書館費		<input type="checkbox"/> 過疎地域自立促進計画
	事業	35	図書館管理運営費		<input checked="" type="checkbox"/> 呉市アウトソーシング推進計画
	細事業	30	図書館管理運営事業		<input checked="" type="checkbox"/> 呉市公共施設再配置計画 1次 2次 <input checked="" type="checkbox"/> 3次
事業類型	<input type="checkbox"/> 法定受託事務			事業開始年度	大正14年度～
	<input type="checkbox"/> 国の法令・県条例により義務付けられているもの			実施根拠(法令、条例、個別計画等)	図書館法, 著作権法, 奉仕事務取決事項, 建築物における衛生的環境の確保に関する法律(ビル管理法)
	<input checked="" type="checkbox"/> 市任意事務				

2 点検項目の概要

(1) 対象 誰・何を対象に	市民					
(2) 事業概要 (事業内容) 手段・方法・年次計画など	<p>1 図書館サービス業務 市民が生涯にわたり、学び、楽しむ情報拠点としての役割を担うため、次のサービスを提供している。</p> <p>(1) 各館における質の高いレファレンスサービス及びカウンターサービス (2) インターネット予約サービス (3) 島しょ部への自動車図書館貸出サービス (4) 学校、保育所、まちづくりセンター等への団体貸出サービス (5) 昭和図書館の窓口業務委託</p> <p>2 職員のレベルアップ推進 段階的・計画的に、正規職員から嘱託職員への移行を進める。図書館機能の在り方として、郷土資料の収集やレファレンス機能の充実が重要と考え、ノウハウの継承に取り組んでいる。</p> <p>(1) 嘱託司書が、図書資料の選定・郷土資料のデータ登録・カウンターでのレファレンス対応等の業務に従事 (2) 嘱託司書を含めた全職員を対象とする郷土資料研修・レファレンス研修の実施 (3) 広島県立図書館が実施する各種研修への積極的な参加</p> <p>3 図書館施設等管理業務 利用者に快適な読書環境を提供するため、専門業者に委託して、次の施設維持管理業務を行っている。</p> <p>(1) 中央図書館空調設備保守点検業務 (2) 中央図書館清掃業務 (3) 中央図書館環境衛生管理業務 (4) 図書館電算処理システム運用業務 各種データとの整合性を保ちながら、図書館利用者の利便性を高めるための電算処理システムを運用。 (5) 図書マーク作成業務 電算処理システムとの整合性を保つとともに、利用者に適切なレファレンスを提供するための図書マークの作成 (6) 計画的な施設改修 中央図書館ハロゲン化物消火設備の交換</p>					
(3) 実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施	<input type="checkbox"/> 一部委託	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> 指定管理者	<input type="checkbox"/> 補助事業	<input type="checkbox"/> その他
(4) 意図・目的 対象をどのような状態にしたいのか	利用者満足の上を目指す。そのための手段として、次のことを重点的に取り組む。		(5) 成果指標 指標名と説明		①呉市の人口に対する入館者の割合 ②人口1人当たり図書貸出点数	
	1 図書館サービスの充実・向上 2 快適な読書環境の提供					

3 投入資源・活動実績

区分		単位	H28(決算)	H29(決算)	H30(決算)	R1(予算)	R2(試算)		
投入資源	事業費	財源内訳							
		国庫支出金 ①	千円						
		県支出金 ②	千円						
		地方債 ③	千円						
		その他 ④	千円	621	517	505	554	554	
	一般財源 ⑤	千円	101,732	86,482	81,327	95,793	95,793		
	【A】(①+②+③+④+⑤)		千円	102,353	86,999	81,832	96,347	96,347	
	人件費	人役	正規職員(8,022千円/年) ①	人役	4.00	4.00	4.00	3.00	3.00
			再任用職員(3,447千円/年) ②	人役	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
			嘱託職員(2,168千円/年) ③	人役	25.00	26.00	26.00	29.00	29.00
上記以外 ④			千円	23,935	23,977	26,185	26,456	26,456	
【B】①×@8,022千円+②×@3,447千円+③×@2,168千円			千円	113,670	115,880	118,088	116,841	116,841	
フルコスト【A】+【B】		千円	216,023	202,879	199,920	213,188	213,188		
活動実績	対象指標	① 呉市の人口	人	229,868	226,725	223,685	223,685	223,685	
		②							
	活動指標	① 入館者数	人	835,546	892,889	841,251	850,000	850,000	
		② 図書貸出点数	点	931,370	1,051,167	1,018,203	1,100,000	1,100,000	
	成果指標	① 入館者数/人口	人	3.63	3.94	3.76	3.80	3.80	
		② 図書貸出点数/人口	点	4.05	4.64	4.55	4.92	4.92	
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度 中央図書館照明器具取替修繕(LED化) 平成30年度 中央図書館ハロゲン化物消火設備交換 平成30年度 平成30年7月豪雨災害の影響により、臨時休館及び開館時間短縮をした館がある。 令和元年度 図書館システム再構築予定 								

4 学識経験者の意見

・今年度、図書館システムを再構築する予定とのことだが、将来的には多方面からアクセスできるシステムづくりを進めてほしい。

5 担当課の評価

(1) 自己評価・点検	評価結果 B	・職員の非正規化、経費削減の中で、快適な読書環境の整備やマンパワーによるサービス内容の充実等、利用者満足度の向上に努めてきた。
(2) 現在の課題と課題解決の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・本離れ、ネット普及による図書館利用者の減少傾向が続いている。 ・レファレンス能力や経験値の高い嘱託司書の育成を進め、利用者が必要とする資料を提供することの積み重ねにより利用増を図る。 ・施設の老朽化、蔵書保存の容量等への対応を検討する必要がある。 	
(3) 今後の方向性(見直しによる効果で数値化できるものがあれば併せて記載してください。)	<ul style="list-style-type: none"> ・OJTによるノウハウの継承と研修の充実により、職員のレベルアップ及び接遇の向上を図っていく。 ・アウトソーシングの推進による管理運営を進めていくとともに、会計年度任用職員制度などを視野に入れた安定的な雇用により、経験値の高い司書の確保に務める。 ・計画的な施設改修により、施設の長寿命化を図っていく。 ・図書館システムを再構築し、利用者の利便性の向上を目指す。 	
振り返り項目	昨年度の今後の方向性(概要) <ul style="list-style-type: none"> ・計画的な施設改修により、施設の長寿命化を図る。 ・研修の充実等に努め、職員のレベルアップを図る。 ・安定的かつ効果的な管理運営を進める。 	昨年度の方向性に対する取組状況 <ul style="list-style-type: none"> ・中央図書館ハロゲン化物消火設備の交換を行った。 ・研修への参加により職員のレベルアップを図った。